

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組 ～ B 組

教科担当者：

使用教科書：（大修館書店『新編 現代の国語』）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	1 ことばをひらく 「ことばの準備体操」 「言葉の使い分け」 「コミュニケーションは技術だ」 【知識及び技能】 ・言語の機能について学び、その具体的事例について理解させる。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・接続表現について学び、正しい接続表現の用い方を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「話す」「聞く」「書く」「読む」それぞれの活動に対して意欲をもとうとする姿勢を養う。	・言語機能について学び、その具体例をあげる。 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を学ぶ。 ・接続表現とその具体例を学ぶ。 ・文章に合わせて接続表現を使い分ける。 ・教科書、プリント	○	○	○	【知・技】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。【(1)イ】 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。【A(1)ウ】 ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。【B(1)ウ】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。【C(1)ア】 【主体的態度】 ・「話す」「聞く」「書く」「読む」それぞれの活動に対して意欲をもっている。	○	○	○	7
	4 聞く力を育む 「聞き取りのレッスン」 【知識及び技能】 ・相手の話す内容を正確に聞き取り、理解する力を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・相手に内容が伝わりやすいような話し方を工夫させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「聞くこと」に興味をもち、正確に聞いたり必要な情報を聞き取ろうとする態度を養う。	・正確に聞き取る。 ・メモの取り方を覚える。 ・メモをとり、内容を整理する。 ・メモをもとに話の内容を要約する。 ・教科書、プリント、P C 端末	○	○		【知・技】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。【(1)イ】 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現のしかたを評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。【A(1)エ】 【主体的態度】 ・「聞くこと」に興味をもち、正確に聞いたり必要な情報を聞き取ったりしようとしている。	○	○	○	5
	漢字の学習 【知識及び技能】 ・常用漢字の正確な読み取り、書き取りができる力を身につけさせる。	・常用漢字の読み取り、書き取りを理解する。 ・副教材、プリント	○	○		【知・技】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。【(1)ウ】	○			8
	定期考査						○	○		1
	2 日本語を使いこなす 「伝わるように話そう」 【知識及び技能】 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・伝えたいことをわかりやすく整理して話す力を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「話すこと」の学習に興味をもち、伝えたいことをわかりやすく整理して話そうとする態度を養う。	・自分の考えを明確にし、まとめる。 ・相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫する。 ・言い換えの表現について学ぶ。 ・教科書、プリント	○	○		【知・技】 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解している。【(1)オ】 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。【A(1)イ】 【主体的態度】 ・「話すこと」の学習に興味をもち、伝えたいことをわかりやすく整理して話そうとしている。	○	○	○	8
	2 日本語を使いこなす 「正しく書こう」 【知識及び技能】	・正しい表記について学ぶ。 ・係り受けを意識して文章を作成する。				【知・技】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、分かりやすさ、適切				

	・話し言葉と書き言葉の違いについて理解させる。 【思考力・判断力・表現力等】 正しい表記で文章を書く力を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・表記に注意を払い、正しい表記で係り受けに気をつけながら書くこととする態度を養う。	・原稿用紙の使い方について学ぶ。 ・教科書、プリント	○	さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。【(1)イ】 【思・判・表】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。【(1)ウ】 【主体的態度】 ・表記に注意を払い、正しい表記で係り受けに気をつけながら書くこととしている。	○	○	○	8
	漢字の学習 【知識及び技能】 ・常用漢字の正確な読み取り、書き取りができる力を身につけさせる。	・常用漢字の読み取り、書き取りを理解する。 ・副教材、プリント	○	【知・技】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。【(1)ウ】	○			8
	定期考査				○	○		1
	5 論理を読み取る 「水の東西」 【知識及び技能】 ・主張と根拠、具体と抽象、対比に着目することで、論理展開をとらえさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・論理的な文章の要旨を的確に読み取る力を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・論理的な文章を的確に読み取ることに関心をもち、論理展開をとらえようとする態度を養う。	・作者の主張とその根拠を理解する。 ・本文の中で用いられている対比について整理する。 ・本文の中で用いられている具体と抽象について理解する。 ・教科書、プリント	○	【知・技】 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。【(2)ア】 【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。【C(1)ア】 【主体的態度】 ・論理的な文章を的確に読み取ることに関心をもち、論理展開をとらえようとしている。	○	○	○	10
2 学 期	漢字の学習 【知識及び技能】 ・常用漢字の正確な読み取り、書き取りができる力を身につけさせる。	・常用漢字の読み取り、書き取りを理解する。 ・副教材、プリント	○	【知・技】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。【(1)ウ】	○			9
	定期考査				○	○		1
	本のPOPを作ろう 【知識及び技能】 ・POPに必要な情報を整理し、伝えたいことを明確にさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・POPの表現の工夫を知り、効果的な紹介文を書くよう指導する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・さまざまな分野の本に興味をもち、積極的に読書に取り組もうとする態度を養う。	・本を選び、本の情報を整理する。 ・表現を工夫してPOPを作成する。 ・教科書、プリント、PC端末	○	【知・技】 ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。【(3)ア】 【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。【B(1)ア】 【主体的態度】 ・さまざまな分野の本に興味をもち、積極的に読書に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	漢字の学習 【知識及び技能】 ・常用漢字の正確な読み取り、書き取りができる力を身につけさせる。	・常用漢字の読み取り、書き取りを理解する。 ・副教材、プリント	○	【知・技】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。【(1)ウ】	○			8
	定期考査				○	○		1
3 学 期	冠婚葬祭マナーを知ろう 【知識及び技能】 ・一般的な冠婚葬祭マナーについて理解させる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・筆ペンなどの特性を理解した上で、のし袋を書くよう指導する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・冠婚葬祭マナーについて興味をもち、積極的に理解しようとする態度を養う。	・一般的な冠婚葬祭マナーを知る。 ・筆ペンで字を練習しながら、その特性について理解する。 ・のし袋に筆ペンで記入をする。 ・プリント	○	【知・技】 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を理解している【(1)エ】 【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。【B(1)ウ】 【主体的態度】 ・冠婚葬祭マナーについて興味をもち、積極的に理解しようとしている。	○	○	○	7
	8 情報と向き合う 「情報を吟味しながら読もう」 【知識及び技能】 ・視点や根拠に注意し、情報を吟味しながら読む力を身につけさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・図表などから必要な情報を読み取らせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報を吟味しながら読むことに興味をもつ姿勢を養う。	・視点を变えて考える。 ・根拠を吟味する。 ・グラフの特徴を知る。 ・教科書、プリント、PC端末	○	【知・技】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。【(2)エ】 【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。【C(1)イ】 ・「読むこと」において、異なる形式で書かれた複数の文章や、図表等を伴う文章を読み、理解したことや解釈したことをまとめて発表したり、他の形式の文章に書き換えたりする活動を通して、情報を吟味している。 【C(2)イ】 【主体的態度】 ・情報を吟味しながら読むことに興味をもち、文章や図表から必要な情報を読み取ろうとしている。	○	○	○	7
	8 情報と向き合う 「情報の力関係」 【知識及び技能】 ・図との関係に注意しながら、文章を読み取らせる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・文字、図形、絵などが読者に与える効果の違いについて考えさせる。	・図形を見比べながら、文章の内容を理解する。 ・本文の内容に似た事例をあげ、発表する。 ・教科書、プリント、PC端末	○		○	○	○	6

[illegible]

年間授業計画 様式例

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語

科目：言語文化

単位数：3 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ B 組

教科担当者：

使用教科書：（新編 言語文化 大修館書店 セレクト漢字検定5級ー2級 桐原書店）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他社とのかかわりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	書	読					
1 学 期	1 水かまきり 【知識及び技能】 春子の心情や、直接描かれていない登場人物の心情を想像すること で、言葉の意味を文脈から捉える。 【思考力・判断力・表現力】 主題を的確に読み取り、その主題を効果的に伝えるために表現上の特色について指摘できる力を養う。	・登場人物の心情を読み取る ・特徴のある表現について考える。 ・「わたし（春子）」の「ケン坊」に対する心情を考える。 ・特徴のある表現について考える。 ・教科書・プリント・端末	○	○	○	【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。[（1）エ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。[B（1）ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味を持ち、登場人物の人間関係や心理を読みとろうとしている。	○	○	○	15
	定期考査						○	○		1
	2 いろは歌・古文冒頭選 【知識及び技能】 音読・暗唱することで響きやリズムの特徴をつかむ。 このことで、言葉への興味・関心を高める。 【思考力・判断力・表現力】 自然の描写や心情の表現方法を通して教材に表れている見方・感じ方を感じ取る。	・本文を音読し、響きやリズムを味わう。 ・本文のおおよその内容を理解する。 ・「いろはカルタ」や身の周りに残っている「いろは」について考える。 ・それぞれの本文を音読し、おおよその内容を理解する。 ・それぞれの文体や表現の違いについて考える。 ・教科書・プリント・端末	○		○	【知識・技能】 漢字仮名交じり書きの本文を見て正しく音読している。[（1）ア（2）エ] 【思考・判断・表現】 ・本文の大まかな内容を理解している。 ・各文のおおまかな内容を理解している。 ・各文の印象の違いについて、具体的な表現をふまえて考えている。 [読（1）イウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 音読や暗唱に進んで取り組もうとしている。	○	○	○	8
	3 児のそら寝 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な分後のきまりや古典特有の表現などについて理解する。 【思考力・判断力・表現力】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈する。	・本文を音読する。通読し、大意を把握する。 ・重要語句の意味を考えながら本文を読解する。 ・児の行動とその心理について話し合う。 ・僧たちの稚児に対する心情と行動について話し合う。 ・僧たちが児のそら寝に気づいていたかどうか考える。 ・教科書・プリント・端末	○		○	【知識・技能】 漢字仮名交じり書きの本文を見て正しく音読している。[（1）ア（2）エ] 【思考・判断・表現】 ・本文の大まかな内容を理解している。 ・各文のおおまかな内容を理解している。 ・各文の印象の違いについて、具体的な表現をふまえて考えている。 [読（1）イウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 音読や暗唱に進んで取り組もうとしている。	○	○	○	12
	4 漢字の学習 【知識及び技能】 常用漢字の正確な読み取り、書き取りができる力を身に付ける。	・常用漢字の読み取り・書き取りを理解する。 ・教科書・プリント・端末		○	○	【知識・技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。[(1)ウ]	○			9
	定期考査						○	○		1
2 学 期	5 祖母が笑うということ 【知識及び技能】 内容や構成、展開の工夫、表現上の特色を叙述に基づいて的確に捉え、評価できる。 【思考力・判断力・表現力】 タイトルと末尾の照応やユーモラスな表現を味わいつつ理解する。	・幼い頃の僕と祖母との関係を捉える。 ・僕にとって祖母はどのような存在なのかを読み取る。 ・修学旅行のエピソードから僕の祖母への思いを読み取る。 ・30代になった僕と90代になった祖母の様子を捉える。 ・僕だけでなく、親戚一同にとっての祖母の存在について考える。 ・教科書・プリント・端末	○	○	○	【知識・技能】 「祖母が笑うということ」という題名の意味について考えている。[（1）エ] 【思考・判断・表現】 ・筆者が親戚の通訳を介さずに祖母とやり取りできた理由を読み取っている。 ・祖母が筆者に「この家にいる生き物は全部おじいちゃん」と言った意味を読み取っている。[読（1）ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 祖母が筆者に対して泣きながら手を握ってくれるのはなぜか読み取ろうとしている。	○	○	○	26
	定期考査						○	○		1
	6 筒井筒 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや古言特有の表現について理解する。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、内容や構	・1段落の男女の「本意」を読み取る。 ・贈答歌に込められた相手へのメッセージを読み取る。 ・「風吹けば」の歌の歌意を読み取る。 ・「君があたり」「君来むと」の	○	○	○	【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。[（1）エ] 【思考・判断・表現】 和歌での告白に際しては、直接的な表現を使わないことを理解している。 【思考・判断・表現】	○	○	○	10

[illegible]

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 国語表現

教科：国語

科目：国語表現

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ B 組

教科担当者：

使用教科書：（大修館書店 国語表現 大修館書店 パスポート国語必修）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようになる。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝えあう力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 国語表現

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	書	読					
1 学期	1 言葉と表記・整った文を書く 【知識及び技能】 ・表記、漢字、慣用表現など、正しい言葉の用い方に必要な知識が身につけさせる。 ・係り受けや文末表現の統一など、整った文を書くために必要な知識が身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字、仮名遣い、送り仮名について正確に判断して、考えながら使いこなせるようにする。 ・主語・述語や副詞の対応、常体と敬体の統一を正確に理解して、使いこなせるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・課題に積極的に取り組み、文を整えて書くことの理解を深められるようにする。	・仮名遣い、送り仮名、漢字、慣用表現、係り受けを整える、文末表現の統一について学び、問題等に取り組む。 教科書・プリント・端末				【知識・技能】 ・表記、漢字、慣用表現など、正しい言葉の用い方に必要な知識が身につけている。 ・係り受けや文末表現の統一など、整った文を書くために必要な知識が身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字、仮名遣い、送り仮名について正確に判断して、考えながら使いこなしている。 ・主語・述語や副詞の対応、常体と敬体の統一を正確に理解して、使いこなしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・課題に積極的に取り組む、文を整えて書くことの理解を深めている				13
	2 わかりやすい文を書く・文のつながり 【知識及び技能】 ・接続表現の種類と働きを理解する。 ・文脈による文のつながりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・長すぎる文を避け、わかりやすい文を考えながら使いこなせるようにする。 ・読点などの記号を考えながら適切に打ち、あいまいな文を避けるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・課題に積極的に取り組み、文を整えて書くことの理解を深められるようにする。	・接続語、整った主述関係、適切な読点について学び、問題等に取り組む。 ・教科書・プリント・端末				【知識・技能】 ・一文を短くすることや読点の打ち方の基本的な知識と技能が身につけている。 ・接続表現の種類と働きや、文脈による接続についての知識が身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・句読点を的確に使いこなし、わかりにくい文章やあいまいな文を適切に直している。 ・接続表現や文のつながりについて正確に理解し、的確に文をつないでいる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・課題に積極的に取り組む、文を整えて書くことの理解を深めている				13
	定期考査									2
2 学期	3 自己紹介ゲーム 【知識及び技能】 自己紹介の方法や目的、適切な話し方を理解する。 【思考・判断・表現】 自己紹介の目的に応じて適切な話題を判断し、他者との多様な交流で情報を収集、整理できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自己紹介を目的としたゲームに強い関心をもち、よりよく伝え合える表現を楽しみ、対話活動を積極的に取り組む。	・サイコロを振るという偶然性のある活動で遊び心をくすぐり、自己紹介を楽しみながら、自分に関わる情報を適切に表現する。 ・教科書・プリント・端末				【知識・技能】 それぞれの自己紹介の方法や目的、適切な話し方を理解し、工夫して紹介している。 【思考・判断・表現】 ・自己紹介の目的に応じて、他者との多様な交流で情報を収集、整理して、伝わりやすく表現している。 ・伝える相手の反応に応じて言葉を選び、相互理解が深まるように表現を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己紹介を目的としたゲームに強い関心をもち、よりよく伝え合える表現を楽しみ、対話活動に積極的に取り組もうとしている。				14
	4 言葉のストレッチ体操 【知識及び技能】 適切な表現や言葉遣いで伝え合ったり聞き取ることができる。 【思考・判断・表現】 話し言葉や非言語的表現の特徴や役割を適切に理解し、相手の反応に応じて相手の同意や共感が得られるようにする。 【主体的に取り組む態度】 コミュニケーションの楽しさを理解し、今後の積極的な交流活動に生かせるようにする。	・コミュニケーションの基礎となる力を養うミニゲームを行う。 ・教科書・プリント・端末				【知識・技能】 適切な表現や言葉遣いで伝え合ったり聞き取ったりしている。 【思考・判断・表現】 ・話し言葉や非言語的表現の特徴や役割を適切に理解し、相手の反応に応じて相手の同意や共感が得られるように、表現を工夫している。 ・視点を明確にして聞いたり、相手に配慮した表現の工夫をしたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 コミュニケーションの楽しさを理解し、今後の積極的な交流活動に生かそうとしている。				13
	定期考査									2
	5 絵や写真を見て書く 【知識・技能】	・机の上に並んでいるトランプの様子や写真を見ていない人にも伝				【知識・技能】 ・説明の順序や5W1Hについて、理解し説明				

3 学 期	・説明の順序や5W1Hについて、理解し説明できるようにする。 【思考・判断・表現】 配置や形を説明する文章を的確な説明の順序で、大切な情報を落とさず書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 絵や写真を見て書くことに興味をもち、相手により効果的に伝わるように説明を書くことに意欲的に取り組もうとしている。	・わかるように文章で説明する。 ・教科書・プリント・端末	○	○	・できる。 ・比喩を用いた説明の効果について、理解し説明できる。 【思考・判断・表現】 ・配置や形を説明する文章を、的確な説明の順序で、大切な情報を落とさず書いている。 ・写真を見ていない相手を想定して、適切に説明する文章を二段落構成で200字程度にまとめ、自分の文章の特徴や課題を捉えなおしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 絵や写真を見て書くことに興味をもち、相手により効果的に伝わるように説明を書くことに意欲的に取り組もうとしている。	○	○	10
	6 マイニュース記事を書くこと 【知識・技能】 5W1Hの大切さを理解し、それをふまえて効果的な文章構成を工夫できるようにする。 【思考・判断・表現】 5W1Hを意識し、事実と意見を区別して、それらを文章構成上に生かしながらニュース記事を書けるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 複数の情報源に取材したり、効果的な文章構成や表現を工夫したりして、よりよいニュース記事になるよう意欲的に取り組もうとしている。	・ニュース記事作成をとおして、情報整理と説明の練習をする。 ・教科書・プリント・端末	○	○	【知識・技能】 事実と意見の違いを理解し、それをふまえて効果的な文章構成を工夫している。 【思考・判断・表現】 どのようなことを書けばいいか、教員を含め他の人から助言を受けつつ、5W1Hを意識し、事実と意見を区別してニュース記事を書いている。 【主体的に学習に向かう態度】 ニュース記事を書く活動に意欲をもち、積極的に取り組もうとしている。			10
	定期考査							1
								合計
							78	

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・現代社会の諸課題を捉え、考察し、合理的・客観的に物事を選択・判断するための考え方や理論について理解している。 ・歴史的事実や諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を、適切かつ効果的に調べまとめることができる。	・現代社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用できる。 ・事実と根拠を基に、社会を多面的・多角的に考察し公正に判断する力を身に付ける。 ・他者を尊重し、合意形成、社会参画に向けて、対話や議論する力を培う。	・よりよい社会の実現に向けて、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚する。 ・主権者、市民として、多様性を尊重し、他者と共に生き、人権を尊重し、寛容な態度、協力し合うことの大切さを育む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	公共的な空間をつくる私たち 【知識及び技能】 ・青年期の特徴と発達課題、様々な人間の心の在り方について理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者と共によりよく生きる自己の生き方についての思索を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己をみつめることを通して、哲学や宗教の意味や意義、「幸福」「愛」「徳」など、人間としての在り方生き方について思索させるとともに、青年期において大切なことを表現してみる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自己の在り方生き方について多面的・多角的に考察させる。	・指導事項 1 私たちの人生と社会 2 青年期の心理と課題 3 わたしの大切なもの 4 楽しいこと・悲しいこと 内容 ・一人1 台端末の活用	【知識及び技能】 生涯における青年期の意義や、現代社会における青年の状況について理解し、その基本的な知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の内面形成と社会とのかかわりに着目させながら、自己形成の課題について考察し、適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間を作る私たちについて、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
	公共的な空間における人間 【知識及び技能】 ヨーロッパの思想哲学の考え方の理解をもとに、社会の構成員としての自己を意識させるとともに、「幸福」「正義」「公正」などの観点から、他者との関わりや社会のあり方について考察させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生命科学や医療技術の進展にともなつて生じた倫理的課題から、生きることの意義について思索させるとともに、「幸福」「公正」などの観点から、社会のあり方について考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・深刻化する環境問題とその解決に向けた取り組みを理解させ、地球規模の課題を身近な地域の問題として捉え、社会の構成員として生きる自己のあり方について考察させる。	・指導事項 1 他者とは何か 2 他者の理解と寛容 3 他者と共に生きる 4 公正と社会的平等 5 環境問題とSDGsを考える 内容 ・一人1 台端末の活用	【知識及び技能】 行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 生命科学や科学技術の進展に伴い、様々な課題が生じてきていることを理解し、その基本的な知識を身につけている。 環境に関わる政治・経済体制や倫理観の重要性を理解し、その基本的な知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正などに着目して、倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間を作る人間としての在り方生き方について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	公共的な空間における基本的原理 【知識及び技能】 近現代の思想家の在り方・生き方について理解を深め、その思想に関する基本的な知識を身につけている。人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取っている。また、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正などに着目して、公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1 近代的人間像の誕生（1） ー近代の始まり 2 近代的人間像の誕生（2） ー科学的な思考 3 国家社会と人間性（1） ー社会契約説 4 国家社会と人間性（2） ーヘーゲルとマルクス 5 公共性の復権と他者についての思考 内容 ・一人1 台端末の活用	【知識及び技能】 近現代の思想家の在り方・生き方について理解を深め、その思想に関する基本的な知識を身につけている。人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取っている。また、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正などに着目して、公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における基本原理について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7

	公共的な空間における基本原理について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。						
	第1章 民主政治の原理 【知識及び技能】 近代民主主義国家の成立や基本的な原理を、関係する諸資料などから適切に選択し、その基本的な知識を身につけている。また、日本国憲法の成立についてその歴史的背景と経緯について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 近代民主主義国家における課題を見出し、個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について、幸福、正義、公正の観点から多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の近代民主主義国家に対する関心を高め、個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について考察しようとしている。	・指導事項 1 近代国家と立憲主義 file 7 法の意義と役割 2 日本国憲法の成立 file 8 憲法改正について考えよう ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】憲法・人権諸条約・新聞などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【思考・判断・表現】【主体的な態度】ディスカッション、作文	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
	人権の尊重と日本国憲法 【知識及び技能】 日本国憲法の人権規定や新しい人権、人権諸条約などの内容とともに、基本的人権の具体的な意味と法の支配、立憲主義の概念を理解している。 憲法の平和主義について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 憲法の人権保障について、法の支配、個人の尊重を基礎に人権を考察しており、権利をめぐる様々な立場を踏まえて判断して考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 憲法と人権に関心をもち、自己の生き方と結び付けて考察しようとしている。	・指導事項 1 他者と共に生きる 2 日本国憲法の三大原理と人権保障 3 平和主義と国際社会 4 自由権 ①法の下での平等 ②個人の尊重 5 社会権 6 参政権の保障と国務請求権 7 新しい人権 8 グローバル化と国際人権 内容 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 日本国憲法の人権規定や新しい人権、人権諸条約などの内容とともに、基本的人権の具体的な意味と法の支配、立憲主義の概念を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 憲法の人権保障について、法の支配、個人の尊重を基礎に人権を考察しており、権利をめぐる様々な立場を踏まえて判断して考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 憲法と人権に関心をもち、自己の生き方と結び付けて考察しようとしている。	○	○	○	7
	民主政治の成立と課題 【知識及び技能】 日本国憲法の三つの基本原理を踏まえ、民主政治の仕組みを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 日本国憲法が保障している基本的人権の内容を通して、政治制度との関わりについて考察させ、個人の尊厳、自由、平等などの社会的価値について理解を深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会において、基本的人権を拡充と新しい人権の内容を理解させる。 国際社会における人権に関する諸条約の意義を考察させる。	・指導事項 1 日本国憲法の三大原理と人権保障 2 平和主義と国際社会 3 自由権 ①法の下での平等 ②個人の尊重 ③精神的自由と身体的自由 4 社会権 5 参政権の保障と国務請求権 6 新しい人権 7 グローバル化と国際人権 内容 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 現代の民主政治と政治参加に関する諸資料を様々なメディアから適切に選択し、効果的に活用し、民主政治と政治参加に対する理解を深め、その基本的な知識を身につけている。 選挙について諸資料を収集して、求める課題についての情報を読み取り、選挙と政党についての知識を身につけ、現状を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の民主政治と政治参加から課題を見出し、民主政治における個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について、幸福、正義、公正の観点から多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 政治参加について、幸福、正義、公正の観点から考察して判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の民主政治と政治参加に対する関心を高め、民主政治における個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について考察しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2学期	日本の政治機構 【知識及び技能】 国民主権を中心とした立法、行政、司法の仕組みと課題を理解させ、制度や機構の背景にある民主政治の考え方について多面的・多角的に考察させる。 【思考力、判断力、表現力等】 政治の仕組みと課題を理解させ、よりよい政治の実現のために、国民が政治に参加する意義を考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地方自治の仕組みを理解させ、地方自治が民主政治の基盤となっていること、地域の課題について考察させることで主権者として育てる。	・指導事項 1 国会の役割としくみ 2 内閣と行政機関 3 裁判所の役割としくみ 4 市民生活と政治参加 5 地方自治と住民の生活 内容 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 国会や内閣についての諸資料を収集し、資料から課題を読み取り、立法や行政のしくみ、政治の現状についての知識を身につけ、理解している。 政治や地方自治について諸資料を収集して、求める課題についての情報を読み取り、政治や地方自治についての知識を身につけ、現状を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 立法や行政、財政の課題について、幸福、正義、公正の観点から考察し、判断することができる。 政治や国民の政治参加について、幸福、正義、公正の観点から考察して判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 立法、行政、司法、地方自治について自己の生活と結び付け、社会における課題を解決するため、政治参加の意義を直	○	○	○	7

			るため、数回参加の意欲を問われている。				
	社会権と生きる権利 【知識及び技能】 労働法と労働基本権を理解させ、制度や機構の背景にある労働基本権の考え方について多面的・多角的に考察させる。 【思考力、判断力、表現力等】 労働法の仕組みと課題を理解させ、よりよい職業生活の実現のために、労働法の意義を考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 労働法の仕組みを理解させ、アルバイトや仕事の課題の解決について考察させる。 【知識及び技能】 社会保障と消費者の権利を理解させ、制度や機構の背景にある社会権の考え方について多面的・多角的に考察させる。 【思考力、判断力、表現力等】 社会保障と消費者の保護の仕組みと課題を理解させ、よりよい生活の実現のために、その意義を考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 社会保障と消費者の権利の仕組みを理解させ、課題の解決について考察させる。	・指導事項 1 「違法バイト」の事例 2 労働法のしくみ 3 労働基本権の特徴 4 労働法の活用と相談 内容 ・一人1台端末の活用 ・指導事項 1 社会保障のしくみ 2 消費者の権利 3 消費者の保護のしくみ 4 社会保障と消費者保護の活用と相談 内容 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 労働法を理解し、制度や機構の背景にある労働基本権を捉えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 労働法の仕組みと課題を理解し、よりよい職業生活の実現のために、労働法の意義を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 労働法の仕組みを理解し、アルバイトや仕事の課題の解決について行動できる。 【知識及び技能】 社会保障と消費者の権利を理解し、制度や機構の背景にある社会権の考え方について多面的・多角的に考察できる。 【思考力、判断力、表現力等】 社会保障と消費者の保護の仕組みと課題を理解させ、よりよい生活の実現のために、その意義に気付くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 社会保障と消費者の権利の仕組みを理解させ、課題の解決について行動できる。				7
	定期考査			○	○	○	7
				○	○		1
3 学 期	国際政治のしくみと役割 【知識及び技能】 国際社会の変遷、人権、国家主権、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割について理解させ、国際社会が抱える課題を考察させる。 【思考力、判断力、表現力等】 戦後の国際社会の変化、冷戦後の軍縮や核兵器廃絶などに関する国際的な取り組みについて理解させ、グローバル化が進展する国際社会の在り方や課題を多角的・多面的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦後の国際社会の変化、冷戦後の軍縮や核兵器廃絶などに関する国際的な取り組みについて自己の生き方を結びつけて関心を高めている。	・指導事項 1 現代の紛争 2 多文化・多民族社会に向けて 3 移民と難民 4 日本の戦後外交と課題 内容 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 戦後の国際政治に関する諸資料を収集し、分析することで、国際政治の変化を理解することに活用できる。戦後の国際政治の動きや現代の国際紛争、資源、兵器などの課題などについて基本的な知識を身につけ、今日の国際情勢について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 戦後の国際政治の動向を考察し、諸国民の幸福、正義、公正の観点から、国際問題について見解を表現し、多様な意見を踏まえて判断している。 【学びに向かう力、人間性等】 戦後の国際政治の動向に関心を持ち、日本の在り方と結び付けて考察しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科： 地理歴史 科目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A・B組

教科担当者：

使用教科書：（ 高等学校 新地理総合（地総-703 帝国書院）

教科 地理歴史

の目標： ・グローバル化する世界に主体的に生きる公民としての資質・能力を育成する。

【知識及び技能】 ・現代世界の地域的特色を理解し、様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 ・地理に関わる事象の意味や意義などを、多面的・多角的に考察したり、課題の解決に向けて

構想したりする力や、それらを基に対話したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 ・地理に関わる諸事象について、課題を主体的に解決しようとする態度を養い、我が国や他国の文化を

尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合

の目標： ・社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、公民としての資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・地理に関する諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 ・諸資料から、地理的な諸課題の解決に必要なとなる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	・地理に関する諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や、空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、自らが構想したことを議論する力がある。	・地理的な思考をもとに現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通してグローバル社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、我が国や他国の文化を尊重することの大切さなどを深めている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1部 地図でとらえる現代世界 1節 地球上の位置と時差 【知識及び技能】 ・日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 1節 地球上の位置と時差 1 地球上の位置と私たちの生活 2 時差と私たちの生活 2節 地図の役割と種類 1 地球儀と地図 2 身の回りの地図 3 統計地図の種類と利用 4 地理情報システム（GIS）の活用 内容 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
	第1部 地図でとらえる現代世界 第2章 結び付きを深める現代世界 【知識及び技能】 ・現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 1節 現代世界の国家と領域 1 現代世界の国家 2 日本の位置や領域 2節 グローバル化する世界 1 国家間の結び付き 2 貿易によって結び付く世界 3 さまざまな交通網の発達 4 世界を結ぶ通信網の発達 5 観光のグローバル化 内容 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】 ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定	・指導事項 1節 世界の地形と人々の生活 1 大地形と人々の生活 2 変動帯と人々の生活 3 安定地域と人々の生活 4 河川がつくる地形と人々の生活 5 海岸の地形と人々の生活 6 氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活 1 気温・降水と人々の生活 2 大気大循環と人々の生活 3 世界の植生と気候区分 4 熱帯の生活 5 乾燥帯の生活 6 温帯の生活 7 亜寒帯・寒帯の生活 内容	【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	14

	【学びに向かう力、人間性等】 ・生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	一人1台端末の活用					
2 学期	定期考査			○	○	○	1
	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】 ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 - 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 3節 世界の言語・宗教と人々の生活 1 世界の言語と人々の生活文化 2 世界の宗教と人々の生活文化 4節 歴史的背景と人々の生活 1 歴史的背景が人々の生活に与える影響 5節 世界の産業と人々の生活 1 人々の生活を支える農業の発展 2 人々の生活を支える工業の発展 3 グローバル化する現代の産業と人々の生活 内容 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学期	第2章 生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】 ・生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 1節 生活圏の調査と地域の展望 1 地理的な課題と地域調査 2 現地調査の準備 3 現地調査の実施 4 調査の分析と発表 内容 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
							合計
							78

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 A・B組

教科担当者：

使用教科書：（「高等学校 新歴史総合」（歴総711）第一学習社）

教科 地理歴史 の目標： 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 【知識及び技能】・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその他の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】・近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合 の目標： 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、公民としての資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその他の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1節 18世紀のアジアの繁栄 第2節 工業化の進展と国民国家の建設 第3節 結び付く世界と日本の開国 第4節 帝国主義とアジア諸国の変容・アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀の日本やその他のアジアにおける経済活動や社会の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを考察し表現して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 ・アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを考察し表現して、工業化と世界市場の形成を理解する。 ・アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを考察し表現して、立憲体制と国民国家の形成を理解する。 ・帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを考察し表現して、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 ・18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 ・産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解する。 ・18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。 ・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 ・18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	第1節 18世紀のアジアの繁栄 第2節 工業化の進展と国民国家の建設 第3節 結び付く世界と日本の開国 第4節 帝国主義とアジア諸国の変容	・18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 ・産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解する。 ・18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。 ・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 ・18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	17

2 学 期	を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。						
	定期考査			○	○	1	
	近代化と現代的な諸課題 ・自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点から主題を設定し、近現代の歴史に存在した課題について、同時代の社会および人々がそれをどのように受けとめ、対処の仕方を講じたのかを諸資料を活用して考察し、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。 ・現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。 ・事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	近代化と現代的な諸課題 第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 国際秩序の変化や大衆化への問い 第1節 第一次世界大戦と大衆社会	・自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点から主題を設定し、現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。 ・事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 ・国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 ・国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 ・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。 ・大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。 ・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現する。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	1	
	・日本とその他の国や地域の動向とを比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを考察したり表現したりして、国際協調体制の動揺を理解する。 ・第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを考察したり表現したりして、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 ・世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解する。 ・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 ・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日	第2節 経済危機と第二次世界大戦 第3節 第二次世界大戦後の世界と日本	・世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解する。 ・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 ・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	14

3 学 期	本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社					
	定期考査			○	○	1
	国際秩序の変化や大衆化への問い ・中学校までの学習並びにこれまでの学習を踏まえ、国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料を活用して情報を読み取ったりまとめたりする技能を習得し、私たちの生活や社会の在り方が、国際秩序の変化や大衆化に伴い変化したことについて考察するための問いを表現する。・資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。	国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	・自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調などの観点から主題を設定し、現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。 ・事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	14
	定期考査			○	○	1
	・国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	第3章 グローバル化と私たち グローバル化への問い	・冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 ・グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	14
	定期考査			○	○	1
						合計 78

- 【知識及び技能】・現代に生きる人間と公共社会についての見方・考え方を育む
- 【思考力、判断力、表現力等】・現代の諸課題を追求したり解決したりする活動を行う。
- 【学びに向かう力、人間性等】・広い視野にたち、グローバル化する国際社会に主体的に生きることができ、平和で民主的な社会の形成者として必要な市民としての資質・能力・態度を育成する。

- の目標： 多様な生徒が生き生きと学ぶことができる。生徒が主体的に学ぶことができる。より良い市民として社会をつくることができる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・グローバル社会に生きるために必要な国際性や多文化共生社会で求められる知識や考え方を身に付ける。 ・生徒が現代の社会・政治・経済の基本的な知識を総合的・横断的に把握し、興味・関心を高める。	・知識を身に付けるだけでなく、生涯を通して学ぶことの大切さに気づき、創造力や批判的思考を養い、社会の中で人間らしく生きていくための方法を探すことができるようにする。 ・事実や根拠をもとにして主体的に自らの思考・判断・表現できるようになる。	・よりよい社会の実現に向けて、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。 ・一人ひとりの主権者、市民として、多様性を尊重し、人権を尊重し、寛容な態度、協力し合うことの大切さを育む。 ・多様な他者と共に生き、協力して新たな社会を構築できるようになる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	自分と向き合う 【知識及び技能】 ・これまでの自分について認識を深め、よりよく生きるために、自己の生き方についての思索を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己を見つめることを通して、思想や哲学、宗教の意味や意義、「幸福」「愛」「徳」など、人間としての在り方生き方について思索する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自己の在り方生き方について多面的・多角的に考察させる。	・指導事項 ・地球温暖化について知り、現代世界が置かれている状況と課題に気付く ・これまでの自分を見つめ、自分についての理解を深める ・わたしの大切なものは何か調べる ・楽しいこと・悲しいこと 内容 ・一人1 台端末の活用	【知識及び技能】 ・地球温暖化について理解し、その基本的な知識を身につけている。 ・自分をしっかり見つめることができるか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地球温暖化ともたらす諸課題について考えることができ、文章やことばで表現できるか。 ・自己の内面形成とについて考察し、適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地球温暖化の諸課題に対応しようとする姿勢が見られるか。 ・自分を見つめ、自分自身を形成していこうとする態度や行動が見られるか。	○	○	○	7
	自己とアイデンティティ 【知識及び技能】 ・自分自身を捉えなおし、自己のアイデンティティの形成についての知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己とアイデンティティについて、考えたり、認識しようとするとともに、アイデンティティの大切さと多様性について考え、判断する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自己のより良い形成とアイデンティティの尊重について考察し、育むことができる。	・指導事項 ・自己形成とアイデンティティの確立について考える。 ・アイデンティティとは何か考えさせる。 内容 ・一人1 台端末の活用	【知識及び技能】 ・自分自身を捉えなおすために必要な知識を身に付けることができたか。 ・アイデンティティとは何かについての知識を学ぼうとすることができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・よりよい自己を形成しようとするために思考することができたか。 ・アイデンティティの大切さについて考え、多様なアイデンティティがあることに気付くことができるか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自己を高め、より望ましい自己形成をはかろうとする姿勢が見られるか。 ・多様なアイデンティティを尊重しようとすることができるか。	○	○	○	7
	定期考査	・		○	○		1
	個人の尊厳と人権 【知識及び技能】 ・個人がどのように誕生し、形成されてきたのか近代の思想を知る。 ・個人の尊厳がいかに大切にされるようになったのか基本的な知識を学ぶ。 ・人権思想がどのように形成されてきたのかについて理解する。 ・人間の尊厳と自由、平等について探究する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・個人がなぜ形成されるようになったのか気づく。 ・個人の尊厳の大切さについて考えることができる。 ・人権の考えが発展してきた理由や背景、根拠について学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・個人の尊厳を大切にできる考えや姿勢を身に付ける。 ・人権を尊重し、人権大切にしようと考え行動することができる。	・指導事項 ・個人の誕生と形成についての基礎的な知識が身に付くようにする。 ・個人の尊厳の大切についての具体的な知識を学ぶ。 ・人権思想の歴史や形成について学ぶ。 ・人間の尊厳と自由、平等について考える。 内容 ・一人1 台端末の活用	【知識及び技能】 ・個人が誕生し、形成されてきたのか近代の思想を知ることができた。 ・個人の尊厳がいかに大切にされるようになったのか基本的な知識を学ぶことができたか。 ・人権思想がどのように形成されてきたのかについて理解することができたか。 ・人間の尊厳と自由、平等について探究することができたか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・個人が誕生し、形成されてきたのか自分自身で考えることができたか。 ・個人の尊厳がいかに大切にされるようになったのか基本的な知識を学ぶことが思考できたか。 ・人権思想がどのように形成されてきたのかについて理解し、思考判断することができたか。 ・人間の尊厳と自由、平等について探究し、表現することができたか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・個人の尊厳について考えることで自分と他	○	○	○	7
	第1章 民主政治の原理 【知識及び技能】 近代民主主義国家の成立や基本的な原理を、関係する諸資料などから適切に選択し、その基本的な知識を身につけている。また、日本国憲法の成立についてその歴史的背景と経緯について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 近代民主主義国家における課題を見出し、個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について、幸福、正義、公正	・指導事項 1 近代国家と立憲主義 file 7 法の意義と役割 2 日本国憲法の成立 file 8 憲法改正について考えよう ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】憲法・人権諸条約・新聞などからの読み取り、ワークシート、小テスト 【思考・判断・表現】【主体的な態度】ディスカッション、作文	○	○	○	2

	リカについて、幸福、正義、公正の観点から多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の近代民主主義国家に対する関心を高め、個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間定期考査					○	○		1
	他者と出会う 【知識及び技能】 日本国憲法の人権規定や新しい人権、人権諸条約などの内容とともに、基本的人権の具体的な意味と法の支配、立憲主義の概念を理解している。 憲法の平和主義について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 憲法の人権保障について、法の支配、個人の尊重を基礎に人権を考察しており、権利をめぐる様々な立場を踏まえて判断して考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 憲法と人権に関心を持ち、自己の生き方と結び付けて考察しようとする	・指導事項 1 他者と共に生きる 2 日本国憲法の三大原理と人権保障 3 平和主義と国際社会 4 自由権 ①法の下の平等 ②個人の尊重 5 社会権 6 参政権の保障と国務請求権 7 新しい人権 8 グローバル化と国際人権 内容 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 日本国憲法の人権規定や新しい人権、人権諸条約などの内容とともに、基本的人権の具体的な意味と法の支配、立憲主義の概念を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 憲法の人権保障について、法の支配、個人の尊重を基礎に人権を考察しており、権利をめぐる様々な立場を踏まえて判断して考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 憲法と人権に関心を持ち、自己の生き方と結び付けて考察しようとしている。			○	○	○	7
	多様性の尊重 【知識及び技能】 日本国憲法の三つの基本原理を踏まえ、民主政治の仕組みを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 日本国憲法が保障している基本的人権の内容を通して、政治制度との関わりについて考察させ、個人の尊厳、自由、平等などの社会的価値について理解を深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会において、基本的人権を拡充と新しい人権の内容を理解させる。 国際社会における人権に関する諸条約の意義を考察させる。	・指導事項 1 日本国憲法の三大原理と人権保障 2 平和主義と国際社会 3 自由権 ①法の下の平等 ②個人の尊重 ③精神的自由と身体的自由 4 社会権 5 参政権の保障と国務請求権 6 新しい人権 7 グローバル化と国際人権 内容 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 現代の民主政治と政治参加に関する諸資料を様々なメディアから適切に選択し、効果的に活用し、民主政治と政治参加に対する理解を深め、その基本的な知識を身につけている。 選挙について諸資料を収集して、求める課題についての情報を読み取り、選挙と政党についての知識を身につけ、現状を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の民主政治と政治参加から課題を見出し、民主政治における個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について、幸福、正義、公正の観点から多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 政治参加について、幸福、正義、公正の観点から考察して判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の民主政治と政治参加に対する関心を高め、民主政治における個人と国家の在り方			○	○	○	7
	定期考査					○	○		1
2 学 期	市民として生きる 【知識及び技能】 国民民主権を中心とした立法、行政、司法の仕組みと課題を理解させ、制度や機構の背景にある民主政治の考え方について多面的・多角的に考察させる。 【思考力、判断力、表現力等】 政治の仕組みと課題を理解させ、よりよい政治の実現のために、国民が政治に参加する意義を考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地方自治の仕組みを理解させ、地方自治が民主政治の基盤となっていること、地域の課題について考察させることで主権者として育てる	・指導事項 1 国会の役割としくみ 2 内閣と行政機関 3 裁判所の役割としくみ 4 市民生活と政治参加 5 地方自治と住民の生活 内容 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 国会や内閣についての諸資料を収集し、資料から課題を読み取り、立法や行政のしくみ、政治の現状についての知識を身につけ、理解している。 政治や地方自治について諸資料を収集して、求める課題についての情報を読み取り、政治や地方自治についての知識を身につけ、現状を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 立法や行政、財政の課題について、幸福、正義、公正の観点から考察し、判断することができる。 政治や国民の政治参加について、幸福、正義、公正の観点から考察して判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 立法、行政、司法、地方自治について自己の生活と結び付けて、社会における課題を解決			○	○	○	7
	主権者として生きる 【知識及び技能】 労働法と労働基本権を理解させ、制度や機構の背景にある労働基本権の考え方について多面的・多角的に考察させる。 【思考力、判断力、表現力等】 労働法の仕組みと課題を理解させ、よりよい職業生活の実現のために、労働法の意義を考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 労働法の仕組みを理解させ、アルバイトや仕事の課題の解決について考察させる。	・指導事項 1 「違法バイト」の事例 2 労働法のしくみ 3 労働基本権の特徴 4 労働法の活用と相談 内容 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 労働法を理解し、制度や機構の背景にある労働基本権を捉えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 労働法の仕組みと課題を理解し、よりよい職業生活の実現のために、労働法の意義を説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 労働法の仕組みを理解し、アルバイトや仕事の課題の解決について行動できる。			○	○	○	7
	【知識及び技能】 社会保障と消費者の権利を理解させ、制度や機構の背景にある社会権の考え方について多面的・多角的に考察させる。 【思考力、判断力、表現力等】 社会保障と消費者の保護の仕組みと課題を理解させ、よりよい生活の実現のために、その意義を考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 社会保障と消費者の権利の仕組みと課題の解決について行動できる。	・指導事項 1 社会保障のしくみ 2 消費者の権利 3 消費者の保護のしくみ 4 社会保障と消費者保護の活用と相談 内容 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 社会保障と消費者の権利を理解し、制度や機構の背景にある社会権の考え方について多面的・多角的に考察できる。 【思考力、判断力、表現力等】 社会保障と消費者の保護の仕組みと課題を理解させ、よりよい生活の実現のために、その意義に気付くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 社会保障と消費者の権利の仕組みを理解させ、課題の解決について行動できる。			○	○		1
	グローバル世界で行動する 【知識及び技能】 国際社会の変遷、人権、国家主	・指導事項 1 現代の紛争 2 多文化・多民族社会に向けて	【知識及び技能】 戦後の国際政治に関する諸資料を収集し、分析することで、国際政治の変化を理解する			○	○		1

3 学 期	権、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割について理解させ、国際社会が抱える課題を考察させる。	3 移民と難民 4 日本の戦後外交と課題	ことに活用できる。戦後の国際政治の動きや現代の国際紛争、資源、兵器などの課題などについて基本的な知識を身につけ、今日の国際情勢について理解している。				
	【思考力、判断力、表現力等】 戦後の国際社会の変化、冷戦後の軍縮や核兵器廃絶などに関する国際的な取り組みについて理解させ、グローバル化が進展する国際社会の在り方や課題を多角的・多面的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦後の国際社会の変化、冷戦後の軍縮や核兵器廃絶などに関する国際的な取り組みについて自己定期考査	内容 ・一人1台端末の活用	【思考力、判断力、表現力等】 戦後の国際政治の動向を考察し、諸国民の幸福、正義、公正の観点から、国際問題について見解を表現し、多様な意見を踏まえて判断している。 【学びに向かう力、人間性等】 戦後の国際政治の動向に関心を持ち、日本の在り方と結び付けて考察しようとしている。	○	○	○	7
				○	○		1
							合計
							63

年間授業計画 様式例

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅰ

教科：数学 科目：数学Ⅰ

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～B組

教科担当者：

使用教科書：（高校数学Ⅰ（実教出版））

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識や事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】 数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。

科目 数学Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学Ⅰにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身につけることができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	- 数の計算、分数の計算ができるようにする。 - 計算の優先順位を理解し、その優先順位のとおり計算ができるようにする。 - 文字を含んだ式のきまりを理解し、表現・処理したりすることができるようにする。	1章 数と式 1節 整式 ウォームアップ 1. 文字を含んだ式のきまり	【知識・技能】 ・基本的な計算方法を理解できる。 （授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【思考・判断・表現】 ・能率的な計算方法を考察できる。 （授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・計算に関心を持ち、取り組もうとしている。 （授業への出席および取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物等を基に評価する。）	○			10
	定期考査			○	○		1
	- 文字を使った式で表すことができるようにする。 - 単項式や多項式、次数、同類項について理解している。 - 指数法則を理解し、計算に用いることができるようにする。 - 式の展開は分配法則を用いれば必ずできることを理解できるようにする。 - 展開の公式を利用することができるようにする。 - 文字をおきかえることによって式の展開を簡略化することができるようにする。	2. 整式 3. 整式の加法・減法 4. 整式の乗法 5. 乗法公式による展開	【知識・技能】 ・単項式と多項式について理解できる。 ・乗法公式の公式の理解を深めることができる。 ・式の展開を、公式を利用して処理することができる。 （授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【思考・判断・表現】 ・同類項をまとめることや、かっこを外すことを利用して、整式の加法・減法を考察できる。 （授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・式の展開に関心をもち、目的に応じて式を変形しようとしている。 ・数の計算に乗法公式の公式が利用できることに関心を持ち、その計算に公式を利用しようとしている。 （授業への出席および取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物等を基に評価する。）	○			15
	定期考査			○	○	○	3
2	- 因数分解の公式を利用することができるようにする。 - 因数分解の検算に展開を利用しようとする。 - 文字をおきかえることによって式の展開、因数分解を簡略化することができるようにする。	6. 因数分解	【知識・技能】 ・単項式と多項式について理解できる。 ・因数分解の公式の理解を深めることができる。 ・因数分解を、公式を利用して処理することができる。 （授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【思考・判断・表現】 ・特定の文字に着目したり、式を1つの文字で置き換えたりして、式を多面的に捉えることができる。 ・式の展開と因数分解の相互の関係がわかる。 （授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・因数分解に関心をもち、目的に応じて式を変形しようとしている。 ・数の計算に因数分解の公式が利用できることに関心を持ち、その計算に公式を利用しようとしている。 （授業への出席および取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物等を基に評価する。）	○			14
	定期考査			○	○		1

学 期	- 平方根の意味・性質を理解できるようにする。 - 根号を含む式の加法，減法，乗法の計算，分母の有理化ができるようにする。 - 有理数，無理数の定義や実数の分類について理解できるようにする。	2節 実数 1. 平方根とその計算 2. 実数	【知識・技能】 - 数を実数まで拡張することの意義を理解している。 $\sqrt{\quad}$を含む式の四則計算ができる。 - 分母の有理化ができる。 - いろいろな数を，自然数，整数，有理数，無理数で分類することができる。 （授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。）	○			13
			【思考・判断・表現】 - 分数が，有限小数や循環小数で表される仕組みを考察することができる。 - 分母を有理化する意義がわかる。 - 循環小数を分数で表すことを考察できる。 - 数を拡張してきた過程や数の四則計算の可能性について考察できる。 （授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。）		○		
			【主体的に学習に取り組む態度】 $\sqrt{\quad}$を含む式の計算に関心をもち，いろいろな計算に積極的に取り組もうとしている。 - 数の体系を実数まで拡張する意義に気付くとともに，数を拡張していく過程に関心をもち，調べようとしている。 （授業への出席および取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物等を基に評価する。）			○	
	定期考査	まとめ		○	○	○	3
3 学 期	- 方程式における解の意味を理解して，1次方程式を解くことができるようにする。 - 不等号の意味を理解し，数量の大小関係を式で表すことができるようにする。 - 不等式が値の範囲を表すことを理解し，その範囲を数直線上に表すことができるようにする。 - 不等式の性質を理解できるようにする。 1次不等式を解くことができるようにする。 - 連立不等式を，数直線を用いて解くことができるようにする。	3節 方程式と不等式 1. 1次方程式 2. 不等式 3. 不等式の性質 4. 1次不等式 5. 連立不等式	【知識・技能】 - サイン，コサイン，タンジェントの意味を理解できる。 - 直角三角形について，三角比の値を求めることができる。 - 三角比の相互関係について理解できる。	○			15
			【思考・判断・表現】 - 不等号の性質を等号の性質と対比してとらえ，不等式の性質を基に1次不等式の解き方を考察できる。 - 日常の事象などを数学的に捉え，1次不等式を問題解決に活用することができる。		○		
			【主体的に学習に取り組む態度】 - 数直線や不等式をグラフで表すことのよさが分かり，意欲的に考えようとしている。 - 具体的な事象の考察に1次不等式を活用しようとしている。 （授業への出席および取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物等を基に評価する。）			○	
	定期考査	まとめ		○	○	○	3
							合計
							78

年間授業計画 様式例		
高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅰ		
教科 科： 数学	科 目： 数学Ⅰ	単位数： 2 単位
対象学年組：第 2 学年	A, B組	
教科担当者：		
使用教科書：（高校数学Ⅰ（実教出版））		
教科 数学	の目標：	
【知識及び技能】	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識や事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	
【思考力、判断力、表現力等】	事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。	
【学びに向かう力、人間性等】	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	
科目 数学Ⅰ	の目標：	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学Ⅰにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表す、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身につけることができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
1 学 期	・2つの数量の関係を式で表現できる。 関数の値を求めることができる。 ・放物線の形や軸、頂点について理解している。 ・ $y=ax^2+q$ の表記について、グラフの平行移動とともに理解している。 $y=a(x-p)^2$ の表記について、グラフの平行移動とともに理解している。	2章 2次関数 1節 関数とグラフ 1. 1次関数とそのグラフ 2. 2次関数とそのグラフ	【知識・技能】 ・2次関数のグラフの特徴を理解できる。 ・2次関数の式から、そのグラフをかくことができる。 ・ $y=ax^2+bx+c$ の式を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形(平方完成)することができる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。) 【思考・判断・表現】 ・ $y=ax^2+bx+c$ の式を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形(平方完成)したうえで、そのグラフをかくことができる。 ・2次関数の式とグラフとの関係について、多面的に考察できる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身の回りの現象で、関数の関係になっているものを関心をもち、調べようとしている。 (授業への出席および取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物等を基に評価する。)	○			10	
	定期考査			○	○			1
	・ $y=a(x-p)^2$ の表記について、グラフの平行移動とともに理解している。 ・ $y=a(x-p)^2+q$ のグラフについて、x軸方向、y軸方向の平行移動の組み合わせであることとらえることができる。 ・ ax^2+bx+c を $a(x-p)^2+q$ の形に変形できる。 平方完成を利用して2次関数のグラフを調べることができる。	2章 2次関数 1節 関数とグラフ 2. 2次関数とそのグラフ	【知識・技能】 ・2次関数のグラフの特徴を理解できる。 ・2次関数の式から、そのグラフをかくことができる。 ・ $y=ax^2+bx+c$ の式を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形(平方完成)することができる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。) 【思考・判断・表現】 ・ $y=ax^2+bx+c$ の式を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形(平方完成)したうえで、そのグラフをかくことができる。 ・2次関数の式とグラフとの関係について、多面的に考察できる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身の回りの現象で、関数の関係になっているものを関心をもち、調べようとしている。 (授業への出席および取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物等を基に評価する。)	○		○		15
	定期考査			○	○	○	3	
・ ax^2+bx+c を $a(x-p)^2+q$ の形に変形できる。 平方完成を利用して2次関数のグラフを調べることができる。 ・2次関数が最大値、または最小値をもつことを理解している。 ・2次関数の最大・最小の問題を、図をかくて考察しようとする。 ・2次関数の値の変化をグラフから考察できる。 ・ $y=a(x-p)^2+q$ の形にして、最大値、最小値を求めることができる。 ・2次方程式が解けるようになる。 ・2次不等式が解けるようになる。	2章 2次関数 1節 関数とグラフ 2. 2次関数とそのグラフ 2節 2次関数の値の変化 1. 2次関数の最大値・最小値 2. 2次関数のグラフと2次方程式 3. 2次関数のグラフと2次不等式	【知識・技能】 ・2次関数のグラフの特徴を理解できる。 ・2次関数の式から、そのグラフをかくことができる。 ・ $y=ax^2+bx+c$ の式を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形(平方完成)することができる。 ・2次関数の最大値・最小値を理解している。 ・2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解している。 ・2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、グラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。) 【思考・判断・表現】 ・ $y=ax^2+bx+c$ の式を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形(平方完成)したうえで、そのグラフをかくことができる。	○					

2 学 期			・2次関数の式とグラフとの関係について、多面的に考察できる。 ・定義域に制限がある2次関数の最大値・最小値について考察できる。 ・日常の事象について、2次関数の最大値・最小値を利用して考察できる。 ・2次不等式を解く際に、簡単に因数分解できない2次式について、2次方程式の解の公式を利用して考察できる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。)		○		14	
			【主体的に学習に取り組む態度】 ・身の回りの現象で、関数の関係になっているものに関心を持ち、調べようとしている。 ・2次関数の値の変化に関心を持ち、具体的な事象の考察に2次関数の最大・最小を活用しようとしている。 ・$D=b^2-4ac$の符号を用いると、2次関数のグラフ・2次方程式・2次不等式の関係がまとめられることに興味を持ち、Dの式を用いてグラフと共有点の個数を考えようとしている。 (授業への出席および取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物等を基に評価する。)			○		
	定期考査				○	○		1
	・直角三角形において、三平方の定理を利用して、辺の長さを求められる。 ・三角定規の形の三角形の辺の比について理解している。 ・相似な三角形の考察から、三角比が三角形の大きさに関係なく、鋭角のみに依存していることを理解している。直角三角形において、正弦・余弦・正接が求められる。 ・三角比から辺の長さを求められることを、三角比の定義から理解できる。具体的な事象を三角比の問題としてとらえることができる。 ・三角比の相互関係を利用して、1つの値から残りの値が求められる。	3章 三角比 1節 三角比 1. 三角比 2. 三角比 3. 三角比の利用 4. 三角比の相互関係 2節 三角比の応用 1. 三角比の拡張 2. 三角比の面積	【知識・技能】 ・サイン、コサイン、タンジェントの意味を理解できる。 ・直角三角形について、三角比の値を求めることができる。 ・三角比の相互関係について理解できる。 ・三角比を鈍角まで拡張することの意義を理解できる。 ・鋭角の三角比を理解できる。 ・正弦定理や余弦定理について理解し、三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。 ・三角比を用いて三角形の面積を求めることができる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。)		○		13	
			【思考・判断・表現】 ・直角三角形において、2辺の長さが与えられた場合について、三平方の定理を利用することで残りの1辺の長さが得られ、それによって三角比の値を求めることができることを考察できる。 ・日常の事象について、三角比を利用して高さや距離が求められることを考察できる。 ・三角比の相互関係を利用して、1つの三角比の値から残りの三角比の値が求められることを考察できる。 ・鋭角の三角比を用いて、鈍角の三角比の値を求めることを考察できる。 ・鋭角の三角比と同様に、鈍角の三角比においても、三角比の相互関係を利用して、1つの三角比の値から残りの三角比の値が求められることを考察できる。 ・正弦定理や余弦定理を導く過程を考察できる。 ・日常の事象について、正弦定理や余弦定理を利用して高さや距離が求められることを考察できる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。)		○			
			【主体的に学習に取り組む態度】 ・直角三角形において、三角形の大きさにかかわらず、角の大きさだけで三角比の値が決まることの良さがわかる。 ・校舎の高さや、2地点の標高差・水平距離などを、三角比を用いて調べようとする。校舎の高さや、2地点の標高差・水平距離などを、三角比を用いて調べようとする。 ・余弦定理と三平方の定理の関係に関心をもっている。 ・正弦定理や余弦定理を利用することで、実測が難しい距離などを求められることに興味をもっている。 (授業への出席および取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物等を基に評価する。)			○		
	定期考査				○	○	○	3
	・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解するとともに、正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさ、面積を求められるようにする。 ・統計の基本的な考えを理解する	3章 三角比 2節 三角比の応用 3. 正弦定理 4. 余弦定理 5章 データの分析 1節 データの分析 1. 統計とグラフ	【知識・技能】 ・三角比を鈍角まで拡張することの意義を理解できる。 ・鋭角の三角比を理解できる。 ・正弦定理や余弦定理について理解し、三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。 ・三角比を用いて三角形の面積を求めること					

3 学 期	とともに、データの散らばりを数値で表してデータの傾向を把握したり、散布図や相関係数を用いて2つのデータの相関を把握できるようにする。	2. 度数分布表とヒストグラム 3. 代表値 4. データの散らばり 5. 外れ値 6. 相関関係	かである。 ・与えられたデータを、指定されたグラフで表すことができる。 ・代表値、四分位範囲、分散、標準偏差などの意味や使い方を理解しており、またそれらを適切に求めることができる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。) 【思考・判断・表現】 ・鋭角の三角比を用いて、鈍角の三角比の値を求められることを考察できる。 ・鋭角の三角比と同様に、鈍角の三角比においても、三角比の相互関係を利用して、1つの三角比の値から残りの三角比の値が求められることを考察できる。 ・正弦定理や余弦定理を導く過程を考察できる。 ・日常の事象について、正弦定理や余弦定理を利用して高さや距離が求められることを考察できる。 ・データの散らばり具合を数値化する方法を考察できる。 ・具体的なデータを元に、表を活用するなどして、相関係数を求める方法を考察できる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・余弦定理と三平方の定理の関係に関心をもっている。 ・正弦定理や余弦定理を利用することで、実測が難しい距離などを求められることに関心をもっている。 ・身の回りのいろいろなデータを集め、適切なグラフで表したり、代表値や散らばりを調べたりして、データを分析しようとしている。 ・身の回りの現象で、正の相関関係があるものと負の相関関係があるものについて、積極的に調べようとしている。 (授業への出席および取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物等を基に評価する。)	○			
					○		15
						○	
	定期考査	まとめ		○	○	○	3
							合計
							78

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科： 数学

科目： 数学Ⅱ

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A,E組

教科担当者：

使用教科書： （ 高校数学Ⅱ（実教出版）

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】

数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識や事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】

事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】

数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。

科目 数学Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学Ⅱにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身につけることができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・式の見方を豊かにするとともに、3次の乗法公式および因数分解の公式について理解を深める。また、二項定理を用いた展開や、分数式の四則演算ができるようになる。	1 章 複素数と方程式 1 節 式の計算 1. 整式の乗法 2. 因数分解 3. 二項定理 4. 分数式	【知識・技能】 ・3次の乗法公式や因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解ができる。 ・分数式の四則計算の方法について理解し、計算ができる。 （授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【思考・判断・表現】 ・3次の乗法公式や因数分解の公式について、既に学習した2次式の場合と関連付けて多面的に考察できる。 ・分数式の計算の方法を、既に学習した分数の計算と関連付けて多面的に考察できる。 （授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・3次の乗法公式を数の計算に活用できることに関心を持ち、実際の計算に活用しようとしている。 ・分数式の計算について、分数と同様に考えられることに関心をもっている。 （授業への出席および取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物等を基に評価する。）	○			10
	定期考査			○	○		
	・数を複素数まで拡張することの意義を理解し、複素数の四則演算ができるようにする。また、2次方程式の解について理解を深める。	2 節 複素数と2次方程式 1. 複素数 2. 2次方程式 3. 解と係数の関係	【知識・技能】 ・数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算ができる。 ・2次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解できる。 （授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【思考・判断・表現】 ・複素数の四則計算の方法を、既に学習した数や式の計算と関連付けて、同様な点や異なる点を考察できる。 ・式の値を計算する際に、適切に式を変形すると解と係数の関係を利用できることを考察できる。 （授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数を複素数まで拡張していく過程に関心を持ち、調べようとしている。 ・判別式の良さがわかり、解の種類の判別を調べようとしている。 （授業への出席および取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物等を基に評価する。）	○		○	15
	定期考査			○	○	○	
	・整式の除法、剰余の定理、因数定理について理解し、それらを用いて高次方程式を解けるようにする。	3 節 高次方程式 1. 整式の除法 2. 剰余の定理と因数定理 3. 高次方程式	【知識・技能】 ・整式の除法について理解し、計算ができる。 ・剰余の定理や因数定理を理解し、余りを求めたり、与えられた式が因数であるかを調べたりすることができる。 ・相加平均と相乗平均の関係が理解できる。 ・左辺と右辺の別々に計算することで、等式の証明をすることができる。 ・引き算を利用して、不等式の証明をすることができる。 （授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【思考・判断・表現】 ・整式の除法について、既に学習した数の計算と関連付けて多面的に考察できる。 ・因数定理を利用すると、3次式や4次式が因	○			
	・等式を証明する方法、および不等式を証明する方法を理解できるようにする。 ・三角比の相互関係を利用して、1つの値から残りの値が求められる。	4 節 式と証明 1. 等式の証明 2. 不等式の証明					

2 学期		数分解できることを考察できる。 ・式の一部を文字で置き換えたり、因数定理を利用したりすると、高次方程式が解けることを考察できる。 ・日常の事象を数学的に捉え、高次方程式を用いて問題解決ができる。 ・条件のある等式や不等式を証明する方法を考察できる。 ・等式の性質や不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明することができる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。)			○		14
		【主体的に学習に取り組む態度】 ・整式の除法に関心をもっている。 ・剰余の定理や因数定理に関心をもち、高次方程式の解法に活用しようとしている。 ・等式を証明するには左辺＝右辺が0になることを示してもよいことがわかり、これを利用しようとしている。 ・等式や不等式の証明について、粘り強く考え、数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 (授業への出席および取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物等を基に評価する。)				○	
	定期考査			○	○		1
	・直線上の点や平面上の点について、その座標を理解し、内分点や外分点を考察する。	2 章 図形と方程式 1 節 点と座標 1. 直線上の点の座標と内分・外分 2. 平面上の点の座標と内分・外分	【知識・技能】 ・直線上の2点間の距離や、線分を内分する点・外分する点の座標を求めることができる。 ・座標平面上の2点間の距離や、線分を内分する点、外分する点の座標を求めることができる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。)		○		13
			【思考・判断・表現】 ・座標平面上の異なる2点から等しい距離にある点の座標を、2点間の距離を求めることを利用して考察できる。 ・座標平面上の2点の中点の座標を利用すると、三角形の重心の座標が求められることを考察できる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。)			○	
			【主体的に学習に取り組む態度】 ・直線上の点や座標平面上の点について、いろいろな距離や座標を求めることに興味をもち、調べようとしている。 (授業への出席および取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物等を基に評価する。)				
	定期考査			○	○	○	3
3 学期	・直線の傾きに注目して、ある直線に平行な直線や垂直な直線の方程式を求めることを学ぶ。 ・直線の方程式は、すべてxとyの方程式 $ax+by+c=0$ の形で表されることを学ぶ。	2 節 直線の方程式 1. 直線の方程式 2. 2直線の関係 [チャレンジ] 原点と直線の距離	【知識・技能】 ・座標平面上のいろいろな直線を方程式で表すことができる。 ・直線の傾きに注目して、平行な2直線や垂直な2直線を調べることができる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。)		○		15
			【思考・判断・表現】 ・ある直線に平行な直線や垂直な直線について、その方程式を求めることを考察できる。 ・直線の方程式や2点間の距離を利用して、原点と直線との距離を考察できる。 (授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。)			○	
			【主体的に学習に取り組む態度】 ・座標平面上の直線の方程式は、すべて $ax+by+c=0$ の形で表されることに興味をもち、調べようとしている。 (授業への出席および取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物等を基に評価する。)				
	定期考査	まとめ		○	○	○	3
							合計
							78

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 理科 科目 科学と人間生活

教科：理科 科目：科学と人間生活

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組 ～ B 組

教科担当者：

使用教科書：（科学と人間生活 科人702 実教出版）

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付ける。

科目 科学と人間生活 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を身に付ける。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けるとともに、科学に対する興味・関心を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元「科学技術の発展」 【知識及び技能】 科学技術の発展が今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 科学技術の発展と人間生活の関わりについて科学的に考察し表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な事例を基に科学技術に対する興味・関心を高めること。	・指導事項 1 科学技術の始まり 2 海（深海を科学の目で見る） 3 土（農業を通して考える） ・教材 教科書・プリント・ノート・ICT 機器 等 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・科学技術の発展が今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解している。（授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【思考・判断・表現】 ・科学技術の発展と人間生活関わりについて科学的に考察し表現できる。（授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な事例を基に科学技術についての学びに積極的に取り組もうとしている。（授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、等を基に評価する。）	○	○	○	6
	B 単元「物質の科学」 【知識及び技能】 身近な材料や衣料と食品に関する観察、実験などを行い、金属やプラスチック、身近な医療材料の種類、性質及び用途などについて、日常生活と関連付けて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な材料や衣料と食品の種類、性質及び用途などについて、日常生活と関連付けて考察し表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な事例を基に物質の科学に対する興味・関心を高めること。	・指導事項 1 材料とその再利用 2 食品と衣料 ・教材 教科書・プリント・ノート・ICT 機器 等 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・身近な材料や衣料と食品の種類、性質及び用途などについて、日常生活と関連付けて理解している。（授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【思考・判断・表現】 ・身近な材料や衣料と食品の種類、性質及び用途などについて、日常生活と関連付けて考察し表現できる。（授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な事例を基に物質の科学についての学びを積極的に取り組もうとしている。（授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、等を基に評価する。）	○	○	○	16
	C 単元「生命の科学」 【知識及び技能】 ヒトの生命現象に関する観察、実験などを行い、ヒトの生命現象を人間生活と関連付けて理解すること。 微生物に関する観察、実験などを行い、微生物の働きを人間生活と関連付けて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ヒトの生命現象や微生物の働きについて、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な事例を基に生命の科学に対する興味・関心を高めること。	・指導事項 1 ヒトの生命現象 2 微生物とその利用 ・教材 教科書・プリント・ノート・ICT 機器 等 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・ヒトの生命現象や微生物の働きについて、人間生活と関連付けて理解している。（授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【思考・判断・表現】 ・ヒトの生命現象や微生物の働きについて、人間生活と関連付けて考察し表現できる。（授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な事例を基に生命の科学に対する学びを積極的に取り組もうとしている。（授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、等を基に評価する。）	○	○	○	14
2 学 期	D 単元「光と熱の科学」 【知識及び技能】 身近な材料や衣料と食品に関する観察、実験などを行い、金属やプラスチック、身近な医療材料の種類、性質及び用途などについて、日常生活と関連付けて理解すること。 【思考力、判断力、表現力】 熱や光や電磁波の性質とその利用について考察し表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な事例を基に熱や光の科学について興味・関心を高めること。	・指導事項 1 熱の性質とその利用 2 光の性質とその利用 ・教材 教科書・プリント・ノート・ICT 機器 等 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・熱や光や電磁波の性質とその利用について理解している。（授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【思考・判断・表現】 ・熱や光や電磁波の性質とその利用について考察し表現できる。（授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な事例を基に熱や光の科学についての学びに積極的に取り組もうとしている。（授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、等を基に評価する。）	○	○	○	16
	E 単元「宇宙や地球の科学」 【知識及び技能】 天体に関する観察、実験などを行い、太陽などの身近に見られる天体の運動や太陽の放射エネルギーについて、人間生活と関連付けて理解すること。 自然景観と自然災害に関する観察、実験などを行い、身近な自然	・指導事項 1 太陽と地球 2 身近な自然景観と自然災害 ・教材 教科書・プリント・ノート・ICT 機器 等 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ・太陽などの天体の運動や太陽の放射エネルギーについて、また身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、人間生活と関連付けて理解している。（授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【思考・判断・表現】 ・身近な自然景観や自然災害について、人間生活と関連付けて考察し表現できる。（授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な事例を基に宇宙や地球の科学についての学びに積極的に取り組もうとしている。（授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、等を基に評価する。）				

	察、実験などを行い、身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、人間生活と関連付けて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 太陽などの天体の運動や太陽の放射エネルギーについて、また身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な事例を基に宇宙や地球の	【思考・判断・表現】 ・太陽などの天体の運動や太陽の放射エネルギーについて、また身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、人間生活と関連付けて考察し表現できる。（授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な事例を基に宇宙や地球の科学についての学びを積極的に取り組もうとしている。（授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、等を基に評価	○	○	○	16	
	定期考査		○	○		1	
3 学 期	F 単元「これからの科学と人間生活」 【知識及び技能】 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活の関わりについての学習を踏まえて、課題を設定し探究することで、これからの科学と人間生活との関わり方について認識を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活の関わりについての学習を踏まえて、課題を設定し探究することで、これからの科学と人間生活との関わり方について科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活の関わりについての学習を踏まえて、課題を設定し探究することで、これからの	・指導事項 1 課題研究：リサイクルによる省エネルギーの検証 2 課題研究：河川の珪藻調査 3 課題研究：太陽光の有効な利用 ・教材 教科書・プリント・ノート・ICT機器 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・これからの科学と人間生活との関わり方について理解している。（授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【思考・判断・表現】 ・これからの科学と人間生活との関わり方について考察し表現できる。（授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、小テスト、定期テスト等を基に評価する。） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・これからの科学と人間生活との関わり方についてについての学びを積極的に取り組もうとしている。（授業への取り組みや態度、ノートやプリントへの記入内容、提出物、等を基に評価する。）	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
							合計 76

高等学校令和6年度（2学年用）教科 理科 科目 化学基礎

教科：理科

科目：化学基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～B組

教科担当者：

使用教科書：（化学基礎 化基702 東京書籍）

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付ける。

科目 化学基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付ける。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元「化学とは何か」 【知識及び技能】 化学と物質について、化学の特徴を理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 化学と物質について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 化学の特徴に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 1 化学とは何か ・教材 教科書・プリント・ノート・ICT機器 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・化学と物質についての実験などを通して、化学の特徴について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。(授業・提出物・小テスト・定期テスト等を基に評価する。) 【思考・判断・表現】 ・化学の特徴について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。(授業・提出物・小テスト・定期テスト等を基に評価する。) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・化学の特徴に関する事物・現象について主体的に関り、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(授業・提出物等を基に評価する。)	○	○	○	2
	B 単元「物質の成分と構成元素」 【知識及び技能】 化学と物質について、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力】 化学と物質について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 1 物質の成分 2 物質の構成元素 3 物質の三態 ・教材 教科書・プリント・ノート・ICT機器 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・化学と物質についての実験などを通して、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。(授業・提出物・小テスト・定期テスト等を基に評価する。) 【思考・判断・表現】 ・物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。(授業・提出物・小テスト・定期テスト等を基に評価する。) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・化学の特徴、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(授業・提出物等を基に評価する。)	○	○	○	5
	C 単元「原子の構造と元素の周期表」 【知識及び技能】 物質の構成粒子について、原子の構造、電子配置と周期表のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質の構成粒子について、観察・実験を通して探究し、原子の構造、電子配置と周期表について見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 原子の構造、電子配置と周期表に関する事物・現象に主体的に関り、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 1 原子の構造 2 電子配置と周期表 ・教材 教科書・プリント・ノート・ICT機器 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・物質の構成粒子についての実験などを通して、原子の構造、電子配置と周期表の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。(授業・提出物・小テスト・定期テスト等を基に評価する。) 【思考・判断・表現】 ・原子の構造、電子配置と周期表について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。(授業・提出物・小テスト・定期テスト等を基に評価する。) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・原子の構造、電子配置と周期表に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(授業・提出物等を基に評価する。)	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	D 単元「化学結合」 【知識及び技能】 物質と化学結合について、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 物質と化学結合について、観察・実験などを通して探究し、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 物質と化学結合に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 1 イオンとイオン結合 2 分子と共有結合 3 金属と金属結合 ・教材 教科書・プリント・ノート・ICT機器 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・物質と化学結合についての実験などを通して、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。(授業・提出物・小テスト・定期テスト等を基に評価する。) 【思考・判断・表現】 ・イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。(授業・提出物・小テスト・定期テスト等を基に評価する。) 【主体的に学習に取り組む態度】 ・イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(授業・提出物等を基に評価する。)	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
E 単元「物質質量と化学反応式」 【知識及び技能】 物質質量と化学反応式についての実験などを通して、物質質量、化学反応式の割合を理解する。それらを用いて、化学反応式の表し方	・指導事項 1 原子量・分子量・式量 2 物質質量 3 溶液の濃度 4 化学反応式の表し方	【知識・技能】 ・物質質量と化学反応式についての実験などを通して、物質質量、化学反応式の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。(授業・提出物・小テスト・定期テスト等を基に評価する。)					

2 学 期		【思考力・判断力・表現力等】 物質質量と化学反応式について、観察・実験などを通して探究し、物質質量、化学反応式を見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 物質質量、化学反応式に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	4 原子・分子の式・式 5 化学反応式の表す量的関係 ・教材 教科書・プリント・ノート・ICT機器 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・物質質量、化学反応式について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。（授業・提出物・小テスト・定期テスト等を基に評価する。） 【思考・判断・表現】 ・物質質量、化学反応式について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。（授業・提出物・小テスト・定期テスト等を基に評価する。） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物質質量、化学反応式について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（授業・提出物等を基に評価する。）	○	○	○	14
	定期考査				○	○		1
	F 単元「酸と塩基」	【知識及び技能】 化学反応についての実験などを通して、酸・塩基と中和のものを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】 化学反応について、観察・実験などを通して探究し、酸・塩基と中和を見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 酸・塩基と中和に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 1 酸と塩基 2 水素イオン濃度とpH 3 中和反応と塩の生成 4 中和滴定 ・教材 教科書・プリント・ノート・ICT機器 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・化学反応についての実験などを通して、酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。（授業・提出物・小テスト・定期テスト等を基に評価する。） 【思考・判断・表現】 ・酸・塩基と中和について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。（授業・提出物・小テスト・定期テスト等を基に評価する。） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・酸・塩基と中和について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（授業・提出物等を基に評価する。）	○	○	○	14
定期考査				○	○		1	
3 学 期	G 単元「酸化還元反応」	【知識及び技能】 化学反応についての実験などを通して、酸化と還元のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】 化学反応について、観察・実験などを通して探究し、酸化と還元を見出して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 酸化と還元に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 1 酸化と還元 2 酸化剤と還元剤 3 金属の酸化還元反応 4 酸化還元反応の応用 ・教材 教科書・プリント・ノート・ICT機器 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・化学反応についての実験などを通して、酸化と還元の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。（授業・提出物・小テスト・定期テスト等を基に評価する。） 【思考・判断・表現】 ・酸化と還元について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。（授業・提出物・小テスト・定期テスト等を基に評価する。） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・酸化と還元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（授業・提出物等を基に評価する。）	○	○	○	15
	H 単元「化学が拓く世界」	【知識及び技能】 化学が拓く世界についての実験などを通して、化学が拓く世界のものを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】 化学が拓く世界について、問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 化学が拓く世界に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 1 化学が拓く世界 ・教材 教科書・プリント・ノート・ICT機器 等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・化学が拓く世界についての実験などを通して、化学が拓く世界の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。（授業・提出物・小テスト・定期テスト等を基に評価する。） 【思考・判断・表現】 ・化学が拓く世界について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。（授業・提出物・小テスト・定期テスト等を基に評価する。） 【主体的に学習に取り組む態度】 ・化学が拓く世界について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。（授業・提出物等を基に評価する。）	○	○	○	4
	定期考査				○	○		1
								合計
								78

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科： 理科 科目： 生物基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ B 組

教科担当： 者：

使用教科書：（「高校 生物基礎」 実教出版

教科 理科

の目標： 自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、科学的な自然観を育成する。

【知識及び技能】自然の事物・現象に対する関心や探究心を高める。

【思考力、判断力、表現力等】理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行う。

【学びに向かう力、人間性等】科学的に探究する能力と態度を育てる。

科目 生物基礎

の目標： 生物や生物現象に関わり、科学的に探究するための資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	生物や生物現象を対象に、探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法が習得できている。	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度が養われている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 生物の多様性と共通性 さまざまな生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見出して理解する。 生物に共通する性質は細胞であることを理解させる。また、細胞にも原核細胞と真核細胞があることを細胞の内部構造とともに理解させる。	プリント提出、授業態度 教科書	【知識・技能】 生物の共通性と多様性について、すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解している。 原核細胞と真核細胞の違いについて、それらの細胞に含まれる細胞小器官の違いとともに理解している。 【思考・判断・表現】 細胞におけるDNAのはたらきについて理解し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 原核細胞と真核細胞について、細胞に含まれる細胞小器官をもとに、違いを理解しようとする。	○	○	○	6
	B 単元 生物とエネルギー 生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解させる。その際、呼吸と光合成の概要を扱う。 光合成や呼吸がATPを合成する反応であることを理解させる。 代謝の反応が行われるときに、酵素がどのように関与しているのか理解させる。	プリント提出、授業態度 教科書	【知識・技能】 生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解している。 生体内で行われる化学反応は、酵素が触媒していることを理解している。 【思考・判断・表現】 呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、ATPと関連づけて考察し、それを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 体内で行われる化学反応は、酵素が関わっていることを理解しようとする。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	C 単元 遺伝とDNA DNAの構造や性質を、研究史を展開しながら理解させる。 DNA、遺伝子、ゲノムの関係性を理解させる。 DNAが体細胞分裂の際に複製され、質・量ともに均等に分配されることにより遺伝情報が伝えられることを理解させる。	プリント提出、授業態度 教科書	【知識・技能】 DNAが二重らせん構造であること、2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。 ゲノム、遺伝子、染色体、DNAの関係を理解している。 【思考・判断・表現】 DNAの複製を塩基配列と関連付けて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 DNAの性質や構造を、DNAの研究史とともに理解しようとする。 ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係について理解しようとする。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学 期	D 単元 遺伝情報とタンパク質の合成 さまざまな生命現象にはタンパク質が関わっていることに触れ、それらタンパク質がDNAの遺伝情報に基づいて合成されることを理解させる。 DNAからタンパク質が合成される際には、転写・翻訳が行われることを理解させる。 すべての遺伝子が細胞内でつねに発現しているわけではないことを理解させる。	プリント提出、授業態度 教科書	【知識・技能】 DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解している。 遺伝子の発現について理解し、細胞ごとに特定の遺伝子が発現することを理解している。 【思考・判断・表現】 DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できる。 mRNAとアミノ酸との対応関係について、遺伝暗号表から読み解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとする。	○	○	○	10
	E 単元 体内環境 動物が体内環境をもち、外界からの影響を適切に調節していることを理解させる。 恒常性により、体内環境が保たれていることを理解させる。 体液を調節することで、体内環境が保たれていることを理解させる。	プリント提出、授業態度 教科書	【知識・技能】 体内環境が一定の範囲に保たれることとその意味を理解している。 肝臓による物質の合成・分解などのしくみや、腎臓での塩類濃度の調節を理解している。 【思考・判断・表現】 腎臓の働きについて体系的に理解し、ろ過・再吸収のしくみを説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	F 単元 体内環境の維持のしくみ 体内での情報の伝達がからだの	プリント提出、授業態度 教科書	【知識・技能】 神経やホルモンの働きにより体内環境が維				

	調節に関係していることを見出し て理解させる。 体内環境の調節に、神経系と内 分泌系が関わっていることを理解 させる。 体内環境の維持とホルモンの働 きとの関係を見出して理解させ る。 ヒトの体液濃度の調節が、自律 神経とホルモンの作用により一定 の範囲に保たれていることを理解 させる。		持されることを理解している。 ホルモンの分泌により血糖濃度が保たれる ことを理解しており、ホルモンの分泌不足に よる発症する疾患についての知識を得てい る。 【思考・判断・表現】 血糖濃度調節のしくみを、ホルモンと自律 神経系の両方の働きから説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 資料に基づいて、ヒトの血糖濃度が調節さ れるしくみを見出し、理解しようとする。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
3 学 期	G 単元 免疫 ヒトには異物を排除する防御機 構が備わっていることを見出して 理解させる。 病原体の侵入を防ぐための、異 物を認識し、排除するしくみを理 解させる。 免疫のしくみの概要を取り上 げ、体液性免疫や細胞性免疫につ いて理解させる。 ヒトの身近な免疫疾患について 理解させる。	プリント提出、授業態度 教科書	【知識・技能】 病原体などの異物を認識・排除するしくみ を理解している。 免疫の医療への応用やヒトの免疫疾患につ いて理解している。 【思考・判断・表現】 資料に基づき、異物を排除する防御機構が 備わっていることを見出して理解すること ができる。 病原体を認識・排除する機構のしくみを体 系的に考察し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 免疫について、身近な現象と絡めて理解し ようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計 78

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 体づくり運動 【知識・技能】運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解させる。 【思考・判断・表現】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫させるとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】体づくり運動に主体的に取り組むさせるとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	体ほぐし運動 ・体の伸展、屈曲、回転、捻転などの運動をゆっくりのびのびと、あるいはリズムカルに心が弾むように行う。 ・歩、走、跳などの全身運動を自分にとって快いペース、ゆったりとした動きや気持ち、あるいはリズムカルに心が弾むように行う。 体力を高める運動 ・大きな力を発揮する能力を高めるための運動 ・スピーディーあるいはパワフルな動きができる能力を高める運動	【知識・技能】運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 【思考・判断・表現】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	○	○	○	8
	B フライングディスク 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。（知識） 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防できるようにさせる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとする。	個人技能 ・フォアハンドスロー、バックハンドスロー、キャッチングを身に付ける アルティメット ・個人技能 ピボット&フェイク、レシーバーへのパス、カットティングをみにつける ・集団技能 ・速攻、セットオフフェンス、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防することができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	12
	C ソフトボール 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。（知識） 安定したバッド操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防する。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとする。	個人技能 ・スローイング、キャッチング、バッティング、ベースランニングなどを身に付ける。 集団技能 ・バントエンドラン、ヒットエンドラン、ダブルスチール等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 安定したバッド操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防することができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	10
	D バドミントン 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。（知識） 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとする。	個人技能 ・ハイクリア、ドロップ、ドライブ、スマッシュ、ヘアピン、ロブなどの各種のフライト、サービス、レシーブなどを身に付ける。 ダブルスに関わる技能 ・相手の動きやフライトの種類、コースなどに応じたパートナーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。				10
	E 陸上競技（長距離） 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。	持久走 決められた周回数を自分のペースを維持して走り続ける。また、体力のある生徒はタイムを意識して	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。 長距離走では、自己に適したペースを維持し				

2 学 期	長距離走では、自己に適したペースを維持して走らせる。 【思考・判断・表現】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫させるとともに、自己の考えたことを他者につたえさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技に自主的に取り組ませるとともに、勝敗などを冷静に受け止めさせ、ルールやマナーを大切にさせ、自己の責任を果たさせ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にさせることなどをしていく。	速く走る。	て走ることができる。 【思考・判断・表現】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者につたえている。 【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にすること、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしてしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	12
	F サッカー 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。（知識） 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防できるようにさせる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするなどをしてしたり、健康・安全を確保したりしている。	個人技能 ・パス、とらっピング、ドリブル、ヘディング、タックル、シュート、スローイング、フェイント、ゴールキーピングなどを身に付ける。 集団技能 ・速攻、遅攻、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス、チームのシステム、ゴールキーパーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防することができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとするなどをしてしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	4
	F テニス 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。（知識） 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするなどをしてしたり、健康・安全を確保したりしている。	個人技能 ・グラウンドストローク、ボレー、スマッシュ、ロビング、サービス、レシーブなどを身に付ける。 ダブルスに関わる技能 ・コンビネーションプレイなどのパートナーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとするなどをしてしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	6

3 学 期	G バスケットボール 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。（知識） 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防できるようにさせる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどを	個人技能 ・パス、キャッチ、ドリブル、シュート、フットワーク、フェイント、ビボットなどを身に付ける。 集団技能 ・速攻、セットオフENSE、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防することができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	8
	H 卓球 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。（知識） 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどを	個人技能 ・フォアハンド、バックハンドによるロング、ショート、カットなどの打法、サービス、レシーブなどを身に付ける。 ダブルスに関わる技能 ・相手の球種へ対応するためのお互いの位置の取り方などパートナーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 安定したパッド操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防することができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	8
							合計
							78

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ B 組

教科担当者：

使用教科書：（現代高等保健体育 大修館書店）

教科 保健体育

の目標：生涯にわたり健康で健やかな生活を送るための知識技能を身につける

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健

の目標：生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 健康の考え方 【知識・技能】国民の健康課題や健康の考え方は国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。健康の保持増進にはヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることを理解する。 【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】	健康の考えかたと成り立ち ・健康については様々な考え方が ある ・健康は様々な要因から成り立つ 私たちの健康のすがた ・わが国の健康水準は向上を続けてきた ・健康問題は時代とともに変化する 健康に関する意志決定・行動選択と環境づくり ・適切な意志決定、行動選択が重要 ・適切な意思決定、行動選択する為に ・健康に関わる環境作りの重要性	【知識・技能】国民の健康課題や健康の考え方は国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。健康の保持増進にはヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることを理解している。 【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	B 現代の感染症とその予防 【知識・技能】感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解する。 【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	感染症とその予防 ・病原体が原因の病気を感染症という ・問題となる感染症は変化している ・感染症の予防は社会と個人で取組む 性感染症、エイズとその予防 ・性感染症、エイズが若者の間で問題となっている ・性感染症、エイズは予防できる	【知識・技能】感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解している。 【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	C 生活習慣病などの予防と回復 【知識・技能】健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実施や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解している。 【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	生活習慣病とその予防 ・生活習慣と関連の深い病気を生活習慣病という ・生活習慣病を予防しよう 食事と健康 ・食事は健康の基礎である ・健康的な食事をとろう 運動、休養と健康 ・適度な運動が健康をつくる ・休養が疲労を回復し活力を復活	【知識・技能】健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実施や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解している。 【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	定期考査	A 健康の考え方 B 現代の感染症とその予防 C 生活習慣病などの予防と回復	【知・技】1 学期に学んだことを理解している 【思・判・表】1 学期に学んだことを表現している	○	○	○	1
2 学 期	D 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 【知識・技能】喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらへの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解する。 【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組む。	喫煙と健康 ・喫煙は健康に大きな影響をもたらす ・喫煙を始めるとなかなかやめられなくなる ・たばこ対策は全世界で進められている 飲酒と健康 ・アルコールは脳や体に影響を及ぼす ・長期間の過度の飲酒は多くの問題を引き起こす ・様々な飲酒対策がおこなわれている 薬物乱用と健康 ・薬物は人生を壊す ・自分の周囲や社会にも悪影響	【知識・技能】喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらへの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解している。 【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	E 精神疾患の予防と回復 【知識・技能】精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践する	欲求と適応機制 ・欲求は成長とともに多様化する。 ・欲求不満や葛藤をやわらげる心	【知識・技能】精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発				

[illegible]

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教 科： 保健体育 科 目： 体育

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ B 組

教科担当者：

使用教科書：（ ）

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになるために、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 体づくり運動 【知識・技能】運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解させる。 【思考・判断・表現】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫させるとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えるさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】体づくり運動に主体的に取り組むませるとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなどをさせ、健康・安全を確保させる。	体ほぐし運動 ・体の伸展、屈曲、回転、捻転などの運動をゆっくりのびのびと、あるいはリズムカルに心が弾むように行う。 ・歩、走、跳などの全身運動を自分にとって快いペース、ゆったりとした動きや気持ち、あるいはリズムカルに心が弾むように行う。 体力を高める運動 ・大きな力を発揮する能力を高めるための運動 ・スピーディーなあるいはパワフルな動きができる能力を高める運動 ・動きを維持する能力をたかめるための運動 ・総合的に体力を高めるための運動	【知識・技能】運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 【思考・判断・表現】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	8
	B フライングディスク 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。（知識） 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防できるようにさせる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。	個人技能 ・フォアハンドスロー、バックハンドスロー、キャッチングを身に付ける アルティメット ・個人技能 ピボット&フェイク、レシーバーへのパス、カットングを身につける ・集団技能 ・速攻、セットオフフェンス、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防することができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合おうとし、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	12
	C ソフトボール 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。（知識） 安定したバッド操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防する。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。	個人技能 ・スローイング、キャッチング、バッティング、ベースランニングなどを身に付ける。 集団技能 ・バントエンドラン、ヒットエンドラン、ダブルスチール等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 安定したバッド操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防することができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合おうとし、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	10

2 学 期	D バドミントン 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。（知識） 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。	個人技能 ・ハイクリア、ドロップ、ドライブ、スマッシュ、ヘアピン、ロブなどの各種のフライト、サービス、レシーブなどを身に付ける。 ダブルスに関わる技能 ・相手の動きやフライトの種類、コースなどに応じたパートナーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合おうとし、健康・安全を確保したりしている。				10
	E 陸上競技（長距離） 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。 長距離走では、自己に適したペースを維持して走らせる。 【思考・判断・表現】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫させるとともに、自己の考えたことを他者につたえさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技に自主的に取り組ませるとともに、勝敗などを冷静に受け止めさせ、ルールやマナーを大切にさせ、自己の責任を果たさせ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にさせることなどをしたり、健康・安全を確保したりさせる。	持久走 決められた周回数を自分のペースを維持して走り続ける。また、体力のある生徒はタイムを意識して速く走る。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。 長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者につたえている。 【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にすること、自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	12
	F サッカー 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。（知識） 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防できるようにさせる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。	個人技能 ・パス、とラッピング、ドリブル、ヘディング、タックル、シュート、スローイング、フェイント、ゴールキーピングなどを身に付ける。 集団技能 ・速攻、遅攻、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス、チームのシステム、ゴールキーパーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防することができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合おうとし、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	4
	F テニス 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。（知識） 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。	個人技能 ・グラウンドストローク、ボレー、スマッシュ、ロビング、サービス、レシーブなどを身に付ける。 ダブルスに関わる技能 ・コンビネーションプレーなどのパートナーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合おうとし、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	6

3 学 期	G バスケットボール 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。（知識） 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防できるようにさせる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。	個人技能 ・パス、キャッチ、ドリブル、シュート、フットワーク、フェイント、ビボットなどを身に付ける。 集団技能 ・速攻、セットオフフェンス、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防することができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合おうとし、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	8
	H 卓球 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。（知識） 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。	個人技能 ・フォアハンド、バックハンドによるロング、ショート、カットなどの打法、サービス、レシーブなどを身に付ける。 ダブルスに関わる技能 ・相手の球種へ対応するためのお互いの位置の取り方などパートナーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 安定したパッド操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防することができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合おうとし、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	8
	合計						78

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ B 組

教科担当者：

使用教科書：（現代高等保健体育 大修館書店）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 健康の考え方 【知識・技能】国民の健康課題や健康の考え方は国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。健康の保持増進にはヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることを理解する。 【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組む。	健康の考えかたと成り立ち ・健康については様々な考え方が ある ・健康は様々な要因から成り立つ 私たちの健康のすがた ・わが国の健康水準は向上を続けてきた ・健康問題は時代とともに変化する 健康に関する意志決定・行動選択と環境づくり ・適切な意志決定、行動選択が重要 ・適切な意思決定、行動選択する為に ・健康に関わる環境作りの重要性	【知識・技能】国民の健康課題や健康の考え方は国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。健康の保持増進にはヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることを理解している。 【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	B 現代の感染症とその予防 【知識・技能】感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解する。 【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組む。	感染症とその予防 ・病原体が原因の病気を感染症という ・問題となる感染症は変化している ・感染症の予防は社会と個人で取組む 性感染症、エイズとその予防 ・性感染症、エイズが若者の間で問題となっている ・性感染症、エイズは予防できる	【知識・技能】感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解している。 【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	C 生活習慣病などの予防と回復 【知識・技能】健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実施や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解している。 【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	生活習慣病とその予防 ・生活習慣と関連の深い病気を生活習慣病という ・生活習慣病を予防しよう 食事と健康 ・食事は健康の基礎である ・健康的な食事をとろう 運動、休養と健康 ・適度な運動が健康をつくる ・休養が疲労を回復し活力を復活	【知識・技能】健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実施や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解している。 【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	定期考査	A 健康の考え方 B 現代の感染症とその予防 C 生活習慣病などの予防と回復	【知・技】1学期に学んだことを理解している 【思・判・表】1学期に学んだことを表現している 【主学態】考査に主体的に取り組もうとしている	○	○	○	1

	D 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 【知識・技能】喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらへの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解する。 【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組む。	喫煙と健康 ・喫煙は健康に大きな影響をもたらす ・喫煙を始めるとなかなかやめられなくなる ・タバコ対策は全世界で進められている	【知識・技能】喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらへの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを理解している。 【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
2学期	E 精神疾患の予防と回復 【知識・技能】精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解する。 【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組む。	欲求と適応機制 ・欲求は成長とともに多様化する ・欲求不満や葛藤をやわらげる心の働きがある。 心身の相関とストレス ・心と体は一体となって働いている ・ストレスは心と体に影響を及ぼす 心の健康のために ・ストレスの対処法 ・自己実現は心の健康につながる	【知識・技能】精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを理解している。 【思考・判断・表現】現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を試行し判断しているとともにそれらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代社会の健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査	D 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 E 精神疾患の予防と回復	【知・技】2学期に学んだことを理解している 【思・判・表】2学期に学んだことを表現している 【主学態】考査に主体的に取り組もうとしている	○	○	○	1
	F 安全な社会づくり 【知識・技能】環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること。また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行などの適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じることを理解する。 【思考・判断・表現】安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えるときともに、それらを表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】安全な社会生活についての学習に主体的に取り組む。	交通事故の現状と要因 ・若者では自動車と二輪車の事故が多い ・3つの要因が関わって交通事故がおこる 交通事故を防ぐためには ・運転者には資質と責任が必要である ・安全な交通社会づくりが進められている	【知識・技能】環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること。また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行などの適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じることを理解している。 【思考・判断・表現】安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
3学期	G 応急手当 【知識・技能】応急手当の意義、日常的な応急手当、心肺蘇生法について、理解することができるようにする。 【思考・判断・表現】応急手当に関わる事象や情報から課題を発見し、自他や社会の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を選択し、安全な社会の実現に向けてそれらを説明することができるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】応急手当の意義、日常的な応急手当、心肺蘇生法について、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとすることができるようになる。	応急手当の意義とその基本 ・適切な応急手当は命を救い痛みをやわらげる ・応急手当の最初のポイントは確認と観察である。 日常的な応急手当 ・けがに応じた応急手当てがある ・熱中症には適切な手当てが大切 心肺蘇生法の原理とおこない方 ・心肺蘇生法は原理にもとづいている ・心肺蘇生法には適切な手順がある	【知識・技能】適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。また、応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることを理解しているとともに、心肺蘇生法などの応急手当を適切に行う技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	定期考査	F 安全な社会づくり G 応急手当	【知・技】3学期に学んだことを理解している 【思・判・表】3学期に学んだことを表現している 【主学態】考査に主体的に取り組もうとしている	○	○	○	39
							合計

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようになるために、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 体づくり運動 【知識・技能】運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解させる。 【思考・判断・表現】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫させるとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えるさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】体づくり運動に主体的に取り組むませるとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなどをさせ、健康・安全を確保させる。	体ほぐし運動 ・体の伸張、屈曲、回転、捻転などの運動をゆっくりのびのびと、あるいはリズムカルに心が弾むように行う。 ・歩、走、跳などの全身運動を自分にとって快いペース、ゆったりとした動きや気持ち、あるいはリズムカルに心が弾むように行う。 体力を高める運動 ・大きな力を発揮する能力を高めるための運動 ・スピーディーなあるいはパワフルな動きができる能力を高める運動 ・動きを維持する能力をたかめるための運動 ・総合的に体力を高めるための運動	【知識・技能】運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 【思考・判断・表現】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	8
	B フライングディスク 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。（知識） 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防できるようにさせる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。	個人技能 ・フォアハンドスロー、バックハンドスロー、キャッチングを身に付ける アルティメット ・個人技能 ビボット&フェイク、レシーバーへのパス、カットイングを身につける ・集団技能 ・速攻、セットオフフェンス、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防することができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合おうとし、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	12
	C ソフトボール 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。（知識） 安定したバッド操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防する。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。	個人技能 ・スローイング、キャッチング、バッティング、ベースランニングなどを身に付ける。 集団技能 ・バントエンドラン、ヒットエンドラン、ダブルスチール等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 安定したバッド操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防することができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合おうとし、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	10

2 学 期	D バドミントン 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。（知識） 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。	個人技能 ・ハイクリア、ドロップ、ドライブ、スマッシュ、ヘアピン、ロブなどの各種のフライト、サービス、レシーブなどを身に付ける。 ダブルスに関わる技能 ・相手の動きやフライトの種類、コースなどに応じたパートナーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合おうとし、健康・安全を確保したりしている。				10
	E 陸上競技（長距離） 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。 長距離走では、自己に適したペースを維持して走らせる。 【思考・判断・表現】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫させるとともに、自己の考えたことを他者につたえさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技に自主的に取り組ませるとともに、勝敗などを冷静に受け止めさせ、ルールやマナーを大切にさせ、自己の責任を果たさせ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にさせることなどをしたり、健康・安全を確保したりさせる。	持久走 決められた周回数を自分のペースを維持して走り続ける。また、体力のある生徒はタイムを意識して速く走る。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。 長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者につたえている。 【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にすること、自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	12
	F サッカー 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。（知識） 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防できるようにさせる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしたり、健康・安全を確保する。	個人技能 ・パス、とラッピング、ドリブル、ヘディング、タックル、シュート、スローイング、フェイント、ゴールキーピングなどを身に付ける。 集団技能 ・速攻、遅攻、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス、チームのシステム、ゴールキーパーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防することができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合おうとし、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	4
	F テニス 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。（知識） 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしたり、健康・安全を確保する。	個人技能 ・グラウンドストローク、ボレー、スマッシュ、ロビング、サービス、レシーブなどを身に付ける。 ダブルスに関わる技能 ・コンビネーションプレーなどのパートナーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合おうとし、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	6

3 学 期	G バスケットボール 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。（知識） 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防できるようにさせる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。	個人技能 ・パス、キャッチ、ドリブル、シュート、フットワーク、フェイント、ビボットなどを身に付ける。 集団技能 ・速攻、セットオフフェンス、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防することができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合おうとし、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	8
	H 卓球 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。（知識） 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。	個人技能 ・フォアハンド、バックハンドによるロング、ショート、カットなどの打法、サーブ、レシーブなどを身に付ける。 ダブルスに関わる技能 ・相手の球種へ対応するためのお互いの位置の取り方などパートナーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 安定したパッド操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防することができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合おうとし、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	8
							合計 78

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするために、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 体づくり運動 【知識・技能】運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解させる。 【思考・判断・表現】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫させるとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】体づくり運動に主体的に取り組ませるとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなどをさせ、健康・安全を確保させる。	体ほぐし運動 ・体の伸展、屈曲、回転、捻転などの運動をゆっくりのびのびと、あるいはリズムカルに心が弾むように行う。 ・歩、走、跳などの全身運動を自分にとって快いペース、ゆったりとした動きや気持ち、あるいはリズムカルに心が弾むように行う。 体力を高める運動 ・大きな力を発揮する能力を高めるための運動 ・スピーディーなあるいはパワフルな動きができる能力を高める運動 ・動きを維持する能力をたかめるための運動 ・総合的に体力を高めるための運動	【知識・技能】運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 【思考・判断・表現】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	4
	B フライングディスク 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。（知識） 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防できるようにさせる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。	個人技能 ・フォアハンドスロー、バックハンドスロー、キャッチングを身に付ける アルティメット ・個人技能 ピボット&フェイク、レシーバーへのパス、カットティングを身につける ・集団技能 ・速攻、セットオフense、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防することができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	6
	C ソフトボール 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。（知識） 安定したバッド操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防する。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。	個人技能 ・スローイング、キャッチング、バッティング、ベースランニングなどを身に付ける。 集団技能 ・バントエンドラン、ヒットエンドラン、ダブルスチール等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 安定したバッド操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防することができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	5

2 学 期	D バドミントン 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。（知識） 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。	個人技能 ・ハイクリア、ドロップ、ドライブ、スマッシュ、ヘアピン、ロブなどの各種のフライト、サービス、レシーブなどを身に付ける。 ダブルスに関わる技能 ・相手の動きやフライトの種類、コースなどに応じたパートナーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合おうとし、健康・安全を確保したりしている。				5
	E 陸上競技（長距離） 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。 長距離走では、自己に適したペースを維持して走らせる。 【思考・判断・表現】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫させるとともに、自己の考えたことを他者につたえさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技に自主的に取り組ませるとともに、勝敗などを冷静に受け止めさせ、ルールやマナーを大切にさせ、自己の責任を果たさせ、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にさせることなどをしたり、健康・安全を確保したりさせる。	持久走 決められた周回数を自分のペースを維持して走り続ける。また、体力のある生徒はタイムを意識して速く走る。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。 長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者につたえている。 【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にすること、自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	6
	F サッカー 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。（知識） 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防できるようにさせる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。	個人技能 ・パス、とラッピング、ドリブル、ヘディング、タックル、シュート、スローイング、フェイント、ゴールキーピングなどを身に付ける。 集団技能 ・速攻、遅攻、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス、チームのシステム、ゴールキーパーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防することができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合おうとし、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	2
	F テニス 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。（知識） 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。	個人技能 ・グラウンドストローク、ボレー、スマッシュ、ロビング、サービス、レシーブなどを身に付ける。 ダブルスに関わる技能 ・コンビネーションプレーなどのパートナーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合おうとし、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	3

3 学 期	G バスケットボール 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解させる。（知識） 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防できるようにさせる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。	個人技能 ・パス、キャッチ、ドリブル、シュート、フットワーク、フェイント、ビボットなどを身に付ける。 集団技能 ・速攻、セットオフフェンス、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防することができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合おうとし、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	4
	H 卓球 【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解する。（知識） 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にすること、作戦などについての話し合いに貢献すること、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にすること、互いに助け合うことなどをしたり、健康・安全を確保する。	個人技能 ・フォアハンド、バックハンドによるロング、ショート、カットなどの打法、サービス、レシーブなどを身に付ける。 ダブルスに関わる技能 ・相手の球種へ対応するためのお互いの位置の取り方などパートナーとの連携等での自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。	【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高めかた、運動観察の方法などについて理解している。（知識） 安定したパッド操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防することができる。（技能） 【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合おうとし、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	4
合計							39

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。

【思考力・判断力・表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

【知識及び技能】	【思考力・判断力・表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組む、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌 器 創 音 録				評価規準				知	思	態	時配 数 当
1 学 期	題材名「曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう」 【知識・技能】曲に相応しい発声などの技能を身に付けること。 【思考力・判断力・表現力等】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解し、表現を工夫して表情豊かに歌うこと。 【学びに向かう力・人間性等】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むこと。	校歌/Ave Maria 「ヴォイス・トレーニング」 花/翼をください ・教材 教科書・プリント・ICT機器 等 ・1人1台端末の活用 等 ・ソルフェージュ p.18 ⑤～⑨	○				【知識・技能】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 【思考、判断、表現】音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、どのように歌うかについて表現意図をもつこと。 【主体的に学習に取り組む態度】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。（授業への取り組みや態度プリントへの記入内容、小テスト、発表等を基に評価する。）	○	○	○				6
	題材名「“CUPS”やボディー・パーカッションに挑戦しよう」 【知識・技能】曲想と音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けること。 【思考力・判断力・表現力等】ボディー・パーカッションや身近にあるコップなどをを用いたリズム表現を通して音色や奏法、表現を工夫し、他者と協働しながら演奏する喜びを味わうこと。 【学びに向かう力・人間性等】曲想とコップや机などを打つ音色や奏法、手拍子や足踏みとの関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組むこと。	Clap, Tap with CUPS! ・教材 教科書・プリント・ICT機器 等 ・1人1台端末の活用 等 ・ソルフェージュ（リズムを正確に打つ練習）	○	○			【知識・技能】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 【思考、判断、表現】音楽を形作っている要素を知覚し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】曲想と手拍子や足踏み、コップや机などを打つ音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。（授業への取り組みや態度プリントへの記入内容、小テスト、発表等を基に評価する。）	○	○	○				8
	題材名「音楽を形づくっている要素に注目して、曲のよさや美しさを探ろう」 【知識・技能】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くこと。 【学びに向かう力・人間性等】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むこと。	・組曲《動物の謝肉祭》鑑賞 ・教材 教科書・プリント・ICT機器 等 ・1人1台端末の活用 等				○	【知識・技能】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴について理解している。 【思考、判断、表現】音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【主体的に学習に取り組む態度】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（授業への取り組みや態度プリントへの記入内容、小テスト、発表等を基に評価する。）	○	○	○				6
	題材名「表現を工夫してギターを演奏しよう」 【知識・技能】曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解し、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けること。 【思考力・判断力・表現力等】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚しそれらの働きを感じしなら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもつこと。 【学びに向かう力・人間性等】曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的に器楽の学習活動に取り組むこと。	ギター：日曜日よりの使者/第三の男のテーマ ・教材 教科書・プリント・ICT機器 等 ・1人1台端末の活用 等	○	○			【知識・技能】曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解し曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 【思考力・判断力・表現力等】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力・人間性等】曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。（授業への取り組みや態度プリントへの記入内容、小テスト、発表等を基に評価する。）	○	○	○				6

2 学 期	題材名「コード進行」をもとにメロディーをつくろう 【知識・技能】音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】音色、リズム、旋律、テクスチュア、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもつこと。 【学びに向かう力・人間性等】音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴に関心をもち、主体	「『コード進行』をもとにメロディーをつくろう」 「コード・ネーム」 ・教材 教科書・プリント・ICT機器 等 ・1人1台端末の活用 等	○				【知識・技能】音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 【思考力・判断力・表現力等】・音色、リズム、旋律、テクスチュア、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力・人間性等】・音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。 (授業への取り組みや態度プリントへの記入内容、小テスト、発表等を基に評価する。)	○	○	○	6
	題材名「さまざまな主題とその構成を聴きとろう」 【知識・技能】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くこと。 【学びに向かう力・人間性等】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解すること。	・交響曲第9番ニ短調 第4楽章 ・教材 教科書・プリント・ICT機器 等 ・1人1台端末の活用 等					【知識・技能】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 【思考力・判断力・表現力等】・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【学びに向かう力・人間性等】・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 (授業への取り組みや態度プリントへの記入内容、小テスト、発表等を基に評価する。)	○	○	○	4
	題材名「チャイムでアンサンブルを楽しもう」 【知識・技能】曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解し他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けること。 【思考、判断、表現】チャイムの響きの特徴を理解するとともに、反復、変化などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付けながら、イメージをもって表現を工夫して創作すること。 【主体的に学習に取り組む態度】音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音型などの特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組むこと。	星に願いを（アンサンブル） 星に願いを（メロディ創作） ・教材 教科書・プリント・ICT機器 等 ・1人1台端末の活用 等					【知識及び技能】創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付け、創作で表している。 【思考力、判断力、表現力】音楽を形作っている要素を知覚し、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】他者との調和や表現形態の特徴を生かして演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 (授業への取り組みや態度プリントへの記入内容、小テスト、発表等を基に評価する。)				8
3 学 期	題材名「表現を工夫して合唱をしよう」 【知識・技能】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能、及び合唱の表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表現すること。 【思考力・判断力・表現力等】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつこと。 【学びに向かう力・人間性等】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、合唱表現の特徴、及び各パートや指揮者の役割に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 (授業への取り組みや態度プリントへの記入内容、小テスト、発表等を基に評価する。)	合唱（楽曲は1学期に決定予定） ・教材 教科書・プリント・ICT機器 等 ・1人1台端末の活用 等	○				【知識・技能】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能、及び合唱の表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表現している。 【思考力・判断力・表現力等】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力・人間性等】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、合唱表現の特徴、及び各パートや指揮者の役割に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 (授業への取り組みや態度プリントへの記入内容、小テスト、発表等を基に評価する。)	○	○	○	6
	題材名「世界各地の様々な音楽の特徴を知り、良さを感じ取ろう」 【知識・技能】世界各地の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くこと。 【学びに向かう力・人間性等】世界各地の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くこと。 【主体的に学習に取り組む態度】世界各地の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び音楽表現の共通性や固有性に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組むこと。	「世界の諸民族の音楽」 ・教材 教科書・プリント・ICT機器 等 ・1人1台端末の活用 等				○	【知識・技能】世界各地の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 【思考力・判断力・表現力等】・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【学びに向かう力・人間性等】・世界各地の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 (授業への取り組みや態度プリントへの記入内容、小テスト、発表等を基に評価する。)	○	○	○	6
											合計
											56

教科：芸術 科目：美術Ⅰ 単位数：2 単位
対象学年組：第2学年 A組～B組
教科担当者：
使用教科書：（美術Ⅰ 日本文教出版）

教科：芸術 科目：美術Ⅰ
【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅰ	目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 数 時
			影	絵	デ						
1 学 期	●表現基礎を学ぶ(絵画表現) 【知識及び技能】 表現の基礎から、対象の形や色彩、材質などの性質や造形的な特徴をイメージや作風などとしてとらえられる。意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現を工夫しながら創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などから空間を考え、創造的な表現の構想を練る。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現基礎を学び、造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組む。	・指導事項 ○鉛筆の性質や特徴を理解し、デッサン表現の基礎的な考え方(調子、光、陰影、立体感など)について理解する。○鉛筆画の美しさや遠近感を出すことによって絵画の空間が表現できる。 ・教材：鉛筆、画用紙、ワークシート、教科書。 ・一人1台端末の活用 等	○			○	【知識及び技能】 形や色彩、材料などの性質や造形的な特徴などをもとに、表現の基礎的な部分を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現を工夫しながら創造的に表そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 身近なものを見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、構図、材料や用具の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表現基礎を学び、造形的なよさや美しさを感じ取り自分の思いなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	18
	●静物画(絵画表現) 【知識及び技能】 対象の形や色、材質、光などを感情に受けとめ、光や陰影、遠近感などの造形的な特徴から、イメージや作風などでとらえられる。その意図に応じて材質や用具を選択し、その特性を生かし表現を工夫しながら主題を創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 静物を見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、構図、画材や用具の特性などから絵画空間を考え、創造的な構想を練る。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に静物を描き、造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える 鑑賞の創造活動に取り組む。	・指導事項。○静物から受けた感動を表現することに関心を持ち、感じ取ったことや、自分の思いなどから主題を生成する。○主題をもとに、形や色、構図などの構想を練る。○光や陰影、遠近感などの表現などを工夫して制作する。○絵具や筆などの用具の特性を生かして表現を工夫する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取る。 ・教材：アクリル絵の具、画用紙、ワークシート、教科書、DVD。 ・一人1台端末の活用 等	○	○		○	【知識及び技能】 対象の形や色、材質、光などを感情に受けとめ、光や陰影、遠近感などの造形的な特徴から、イメージや作風などでとらえられる。その意図に応じて材質や用具を選択し、その特性を生かし表現を工夫しながら主題を創造的に表そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 静物を見つめ、感じ取った特徴やものに対する自分の思いなどから主題を生成し、形や色、構図、画材や用具の特性などから絵画空間を考え、創造的な構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に静物を描き、造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える 鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	18
2 学 期	●木彫壁飾り(彫刻表現) 【知識及び技能】 教科書、画集、端末活用で芸術作品を鑑賞し、そこから受けた感動を立体絵画として形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、量感や質感、動勢などの造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、立体絵画であらわす表現の方法を工夫し、主題を追求して創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 作品鑑賞から感じ取った感情などから主題を生成し、材料の特性を生かし、質感や量感、動勢などについて考え、創造的な表現の構想を練る。感動をあらわした彫刻の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に教科書、画集、端末活用で芸術作品を見つめ、感じ取った感動をもとにした表現の創造活動に取り組む。	・指導事項 ○教科書、画集、端末活用で作品を鑑賞した作品に関心を持ち、作品から感じ取った感動から主題を生成する。○主題をもとに、画材の特性から構図などの構想を練る。○画材や用具の特性を生かして制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取る。○教一人1台の端末を活用して鑑賞し、表現活動に生かす。○用具を正しく使い、安全に作業できる。	○	○		○	【知識及び技能】 教科書、画集、端末活用で芸術作品を鑑賞し、そこから受けた感動を立体絵画として形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、量感や質感、動勢などの造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、立体絵画であらわす表現の方法を工夫し、主題を追求して創造的に表そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 作品鑑賞から感じ取った感情などから主題を生成し、材料の特性を生かし、質感や量感、動勢などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。感動をあらわした彫刻の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に教科書、画集、端末活用で芸術作品を見つめ、感じ取った感動をもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	40
3 学 期			○	○		○		○	○		合計 78

年間授業計画 様式例
高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 芸術 科目 工芸Ⅰ
教科：芸術 科目：工芸Ⅰ 単位数：2 単位
対象学年組：第3学年 A組～B組
教科担当者：
使用教科書：（工芸Ⅰ 日本文教出版）

【知識及び技能】
【思考力、判断力、表現力等】
【学びに向かう力、人間性等】

生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

の目標：

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 身・社		賞鑑	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	自宅の表札を作る 彫刻刀の使い方 表札のデザインとフォント わかりやすいフォントを考える	自宅表札の制作 ・ケガをしない彫刻刀の使い方 ・教材；桂、彫刻刀	○	○		知識・関心・意欲 デザインの確認 制作過程の確認	○	○	○	10
	自宅の表札を作る 糸鋸の使い方 表札のデザインとフォント わかりやすいフォントを考える	表札の文字を金属で制作 ・手引きの糸鋸の使い方 ・真鍮板、糸鋸	○	○		知識・関心・意欲 デザインの確認 制作過程の確認	○	○	○	16
	透かし彫り技法による小箱の制作 透かし彫りのデザイン 真鍮板を彫る	ケント紙を使った試作の制作 ・デザイン案を考える ・カッターを使って試作 ・ケント紙で試作 ・真鍮板を糸鋸で透かし彫り カッター、カッターマット 糸鋸、ボール盤、すり板	○	○		知識・関心・意欲 デザインの確認 制作過程の確認	○	○	○	14
	透かし彫り技法による小箱の制作 真鍮板を彫る	透かし彫りの制作 ・真鍮板を糸鋸で切り抜く 糸鋸、ボール盤、すり板	○	○		知識・関心・意欲 デザインの確認 制作過程の確認	○	○	○	16
3 学 期	真鍮板の装飾小箱 小箱の装飾デザイン 彫刻刀の使い方	木彫小箱の表面装飾 ・彫刻刀 着色を施す アクリル絵の具。ニス	○	○		知識・関心・意欲 デザインの確認 制作過程の確認	○	○	○	12
	鑑賞 日本の伝統工芸について	日本の工芸について学ぶ 地方の特色を理解する 日本各地の名産品知る			○	知識・関心・意欲 伝統工芸品への興味 地方の特色の理解	○	○	○	8 合計 76

高等学校 令和 6 年度 (3 学年用) 教科 芸術 科目 書道 I

单位数： 2 单位

の目標：

芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

産にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度をい、豊かな情操を培う。

の目標：

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 数 時	
			漢 仮	漢	仮							
1 学 期	書道で学習すること 書写から書道へ 【知識及び技能】 用具・用材の特徴と表現効果との 関わり 用筆・運筆から生み出さ れる書の表現性 【思考力、判断力、表現力等】 生活や社会社会における書の効用 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に高校書道の幅広い表現の 学習に取り組む	・書道の三分野（漢字の書・仮名 の書・漢字仮名交じりの書）と、 臨書・鑑賞・創作という学習方法 があることを理解する。 ・小・中学校国語科書写と高校書 道の学習の違いを理解する。 ・国語科書写で学習した内容（筆 使い・字形など）を確認する。				○	○	【知】・芸術科書道で学習することを理解し ている。・小・中学校国語科書写で学習した 内容を理解している。 【思】国語科書写で学習した楷書の用筆を理 解している。 【態】・高校書道での学習を主体的に取り組 んでいこうとする態度を養っている。小・中 学校書写で学習した内容を主体的に振り返っ ている。	○	○	○	10
	漢字の書 楷書 【知識及び技能】 書風と古典に基づく基本的な用 筆・運筆 【思考力、判断力、表現力等】 古典の書体や書風に即した用筆・ 運筆、字形、全体の構成について 構想・工夫 【学びに向かう力、人間性等】 楷書のよさや美しさを感じ、主 体的に楷書の幅広い表現・鑑賞の 学習に取り組む	・楷書の用筆、運筆、結構や字形 の取り方について理解し、技法を 習得する。 ・古典を臨書する意義について理 解する。 ・唐の四大家の楷書作品の臨書か ら書風違いを理解し、技法を習得 する。				○	○	【知】臨書を通して唐の四大家の楷書作品の 字形や線質・点画の特徴を理解し、それを表 現するための用筆・運筆の技法を理解してい る。 【思】鑑賞を通して唐の四大家の楷書作品の 書風とそれを形成する表現の要素を理解し、 臨書に生かしている。 【態】唐の四大家の楷書作品に関心をもち、 その美を味わおうとしている。	○	○	○	16
2 学 期	漢字の書 行書 【知識及び技能】 書体や書風と用筆・運筆との関わり 【思考力、判断力、表現力等】 古典の書体や書風に即した用筆・ 運筆、字形、全体の構成について 構想・工夫 【学びに向かう力、人間性等】 行書のよさや美しさを感じ、主 体的に行書の幅広い表現・鑑賞の 学習に取り組む	・行書の特徴を理解する。 ・行書の用筆・運筆の技法を理解 し、習得する。 ・書道史における書聖・王羲之と 「蘭亭序」について理解する。 ・「蘭亭序」を鑑賞し、卒意の書 ならではの多様な書きぶりを理解 する。・筆脈と抑揚を意識 して「蘭亭序」を臨書する。				○	○	【知】臨書を通して「蘭亭序」の線質や点画 の特徴を理解し、それを表現するための用 筆・運筆の技法を理解している。 【思】鑑賞を通して「蘭亭序」の書風とそれ を形成する表現の要素を理解し、臨書に生か している。 【態】行書の字形や用筆の特徴について、主 体的に確認している。「蘭亭序」に関心をもち、 その美を味わおうとしている。	○	○	○	18
	仮名の書 【知識及び技能】 古典に基づく基本的な用筆・運 筆、線質を生かした表現 【思考力、判断力、表現力等】 古典の書風に即した用筆・運筆、 字形、全体の構成 【学びに向かう力、人間性等】 仮名の書のよさや美しさを感じ し、主体的に仮名の書の幅広い表 現・鑑賞の学習に取り組む	・仮名の成立について理解する。 ・仮名の基本的な用筆・運筆を理 解し、習得する。 ・平仮名の字源を知り、正確に字 形を捉える。 ・変体仮名について理解する。 ・「高野切第三種」を鑑賞し、典 型的な仮名の美を感じ取る。 ・「高野切第三種」をもとに連綿 の法則を理解する。 ・「高野切第三種」の伸びやかな 用筆・運筆を意識して臨書する。				○	○	【知】「高野切第三種」の臨書を通して、平 仮名・変体仮名の字形や線質、連綿の法則を 理解し、それを表現するための用筆・運筆の 技法を理解している。 【思】鑑賞を通して、平仮名の字形や線質、 変体仮名の多様性を理解し、臨書に生かして いる。【態】仮名に関心をもち、典 型的な古典作品である「高野切第三種」の美 しさを味わおうとしている。	○	○	○	14
3 学 期	漢字仮名交じりの書 【知識及び技能】 漢字と仮名の調和した線質による 表現と目的や用途に即した効果的 な表現 【思考力、判断力、表現力等】 漢字と仮名の調和した字形、文字 の大きさ、全体の構成と意図に基 づいた表現 【学びに向かう力、人間性等】 書のよさや美しさを感じ、主 体的に幅広い表現・鑑賞の学習に 取り組む	・漢字仮名交じりの書の特徴を理 解する。 ・漢字仮名交じりの書の作例を鑑 賞し、漢字と仮名の調和や自由な 紙面構成などの表現の特徴を確認 する。 ・書く言葉を決め、古典や古筆の 学習を通して習得した知識・技能 を生かし、書体・書風、紙面構 成、用具・用材などの観点で作品 の構想を練る。 ・試作を重ね、表現を工夫し、作 品を仕上げる。 ・作品を鑑賞し合い、学習の成果 を交流する。				○	○	【知】漢字仮名交じりの書の特徴を理解して いる。 【思】表現のねらいを明確に定め、古典や古 筆の学習を通して習得した知識・技能を生か した構想を練っている。創作した作品を互い に鑑賞し、批評し合うことで、表現の意図と 技法の効果について工夫している。 【態】漢字仮名交じりの書の創作に関心をもち、 主体的に取り組んでいる。	○	○	○	20
											合 計	
											78	

科目 英語コミュニケーションⅠ

单位数： 2 单位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ B 組

教科担当者：

使用教科書： (Amity English Communication I

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】 基本的な単語の読み書きができる様に、主語、動詞を理解し文の構成を把握できる

【思考力、判断力、表現力等】 基本的な英語の運用能力を身に着け、英文の内容を理解し、思考、表現する能力を身に着ける

【学びに向かう力、人間性等】英語の学習を通して言葉への関心を高め、言葉・文化・民族の多様性と共生の大切さを学ぶ

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

[illegible]

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

【学びに向かう力、人間性等】
英語の学習を通して言葉への関心を高め、 言葉・文化・民族の多様性と共生の大切さを 学ぶ

[illegible]

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

单位数： 2 单位

)

の目標：

[illegible]

年間授業計画 様式例

高等学校 令和6年度（12学年 用）家庭 科目 家庭総合

教科：家庭

科目：家庭総合

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～B組

教科担当者：（ ）

使用教科書：（教育図書 未来へつなぐ家庭総合365 ）

教科 家庭

の目標：

【知識及び技能】総合的な技術を身につけている

【思考力、判断力、表現力等】生活の充実向上を図るための課題を見だし、適切な判断ができる。

【学びに向かう力、人間性等】主体的に取り組み実践的な態度を身につけている。

科目 家庭総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
総合的な知識や技術を身につけている。	課題を見つけ適切に判断し、工夫する能力がある。 生活の充実向上を図るための課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身につけている。	主体的に取り組み実践的な態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	自分らしい生き方とパートナーシップ 第3編 生活をつくる 第1章 食生活をつくる	家庭科を学ぶにあたっての導入	授業への取り組み方 提出物の有無 基礎的理解ができているか復習プリントや小テストを行い理解力をチェックする。 スマホなど授業の妨げになるものを禁止し、それを守れないときは授業態度点からマイナスにする。 毎時間授業に積極的に参加できるように教科書の音読を行わせる。	○	○	○	
	1. 人と食物のかかわり	食生活の歴史や食文化から食事の意義について考えさせる。		○	○	○	16
	2. 栄養と食品のかかわり	栄養の種類と働きやそれぞれの栄養素を多く含む食品の特質を知る。		○	○	○	8
	3. 食品の選び方と安全	食中毒、食品添加物その他現在の食生活の問題点などに触れ衛生的で安全な食生活について理解させる。		○	○	○	4
2 学期	4. 食生活をデザインする	栄養所要量や食品群別摂取量の目安を理解させ家族の1日の献立作成ができるようにする。	授業への取り組み方 提出物の有無 基礎的理解ができているか復習プリントや小テストを行い理解力をチェックする。 スマホなど授業の妨げになるものを禁止し、それを守れないときは授業態度点からマイナスにする。 毎時間授業に積極的に参加できるように教科書の音読を行わせる。	○	○	○	6 10
	5. これからの食生活を考える	食料の自給、輸入食品、遺伝子組み換え食品、食生活と環境など現在の問題点やこれからの課題を考えさせる。		○	○	○	10 6
	第1章 食生活をつくる 1. 人と衣服のかかわり	衣服の期限や歴史風土に適した衣服を知らせる。衣服とは何か、衣服の役割を考えさせ衣生活に関心を持たせる	授業への取り組み方 提出物の有無 基礎的理解ができているか復習プリントや小テストを行い理解力をチェックする。 スマホなど授業の妨げになるものを禁止し、それを守れないときは授業態度点からマイナスにする。 毎時間授業に積極的に参加できるように教科書の音読を行わせる。	○	○	○	6 8
3 学期	2. 私たちの衣生活	繊維の種類と特徴について理解させ、用途に応じた素材の選択ができるようにする。		○	○	○	4
	3. 衣服は何かからできているか						合計
							78

年間授業計画 様式例

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 家庭総合 科目

教科： 家庭科 科目： 家庭総合

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ B 組

教科担当： 者：

使用教科書：（ 教育図書

教科 家庭科

の目標：

【知識及び技能】

人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関りにについて理解を深め、家族・家庭、衣住生活、高齢者や保育などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見つけたして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	青年期の自立と家族・家庭 【知識及び技能】 自立した生活を営むために、生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生活課題に対して意思決定を行う重要性を理解し、歩みたい人生の目標を描く。 【学びに向かう力、人間性等】 今までの自分を客観的に振り返りこれからの生活を充実向上向上させようとする。	自分自身について客観的に捉え、生涯を通して人の一生について考え、それぞれのライフステージごとの特徴と課題を理解させる。 「18歳成年時代」の自立について特に考えさせる。 ライフコースの参考になる各種例や資料を示し、集めさせる。 さまざまな結婚、家族・家庭について学習し、現在の家庭が抱える課題などを理解させる。 家族に関する法律について理解させる。 ・ワークシート等	【知識・技能】 よりよい家庭生活を実現するために、家族・家庭と私たちの生活の結び付きや社会制度としての家族や家族と法律を理解し、さまざまな生き方について理解する。 【思考・判断・表現】 生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 家庭や地域のよりよい生活を創造できるにはどのような社会を実現すればよいか、考えて実践しようとする。	○	○	○	14
	衣生活と健康 【知識及び技能】 私たちが被服を着用するに至った、社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 用途に合った着装を実践できる力を身につけるために、社会生活を営むうえでの被服の役割を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、衣生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組む改善し生活文化を継承する。また、自分や家庭生活の充実向上を図る	被服を着用するに至った、社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解し、用途に合った着装をファッションデザイン画で表現し被服の役割を理解させる。 様々な人々と協働し、衣生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組む改善し生活文化を継承する。また、自分や家庭生活の充実向上を図らせる。 ・実習レポート等	【知識・技能】 衣生活を取り巻く課題など、被服と人との関わりについて理解を深めている。 身体特性と被服の機能及び着装について理解している。健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができる。 【思考・判断・表現】 主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、衣生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活文化を継承し、自分や家庭の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	衣生活と健康 【知識及び技能】 衣服製作を通して、衣服の構成や計画・管理に必要な技能と基礎的な縫製技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ものづくりを通して、個性を表現し生活を楽しむ態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 小・中学校で学んだ縫製技術を確認し、被服製作の工程理解と必要な準備、製作をする。また、製作記録を記入し発表する。	これまで学習してきた被服の機能、素材と管理の知識を応用しながら、目的に合った被服を製作するために、被服が身体の形に合わせてどのように構成されているかを理解する。また、布を使った伝統的な生活の工夫を取り上げ、手仕事の楽しさを知り、環境負荷の低い衣生活の在り方を理解させる。 ・実習レポート・用布等	【知識・技能】 被服構成や被服製作について科学的に理解している。衣生活の自立に必要な技能を身に付け、衣生活を取り巻く課題など、被服と人との関わりについて理解を深めている。 健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができる。 【思考・判断・表現】 主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活の課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭の生活の充実向上を図るために実践しようとしている	○	○	○	21

2 学 期	高齢期の生活と福祉 【知識及び技能】 生涯を見通して高齢期を捉えるとともに、高齢者の身体的特徴と心理的特徴の概要、自立した生活ができなくなっても、人間として尊ばれることや、それを支えるために、自立生活の支援や介護が必要であることを理解する。更に地域社会の中で互いに連携し合って役割を果たす地域包括ケアなどの理念や仕組みについて理解するとともに、地域社会の一員として地域福祉の充実に関心をもち、その担い手として住民相互の助け合いやボランティア活動に参加することの意義について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 習得した知識や技能を活用し、生活場面における課題について具体的な事例を通して、当事者や家族の要望を尊重した計画的かつ科学的な援助について考えることができる。また、心身の状況に応じた介助方法を考え、介護者と当事者の双方に負担の少ない介護方法についても科学的根拠に基づき考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢者との関わりや福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図る。	高齢者の暮らし方などの生活実態調査資料や疑似体験などを基に、高齢期の状況を把握する、祖父母や身近な高齢者から生きがい、社会参加、健康問題と介護、生計の維持などについて聞き取る。また、麻痺、視聴覚障害などの介護の要点に触れ、車椅子の自力操作や移動・移乗の介助、食事の介助、着脱衣などの技能を身に付けながら、場面に応じた対応ができるようにさせる。 ・実習レポート等	【知識・技能】 高齢者を取り巻く社会環境の変化や高齢期の心身の特徴と高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護、また、高齢者の心身の状況に応じて適切に関わるための生活支援に関する技能を身に付け、高齢者福祉について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 高齢者の自立生活を支えるために心身の状況に応じた適切な支援の方法や関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢者との関わりや福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	子どもの生活と保育 【知識及び技能】 乳幼児の発達と遊びの意義や重要性を理解し、子供のための児童文化財などについて理解する。子供や保育への関心をもち、個々の子供の発達の段階に応じて適切に関わるための技能を身に付ける。また、子供は保護され養育される存在としての権利をもつとともに、人間として一人一人の人格が尊重される存在でもあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 多様化している保育のニーズや子供の育つ環境にどのような課題があるかを考え、子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について考察する。また、子供の発達の段階を踏まえ、安全や衛生に配慮し、様々な場面で個々の子供の発達や個人差を考えた適切な関わり方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	子どもの食事やおやつ、衣服や玩具、室内環境など、子供と衣食住の生活との関連を意識した取組としておやつを作ったり、子どもが安全に遊べる玩具として絵本を製作して、実際に子供と遊び、子供の立場で身の回りの環境の安全や衛生について調べたりする。 ・実習レポート等	【知識・技能】 親の役割と保育について理解を深めている。乳幼児期の心身の発達と生活にもとづく子供の遊びと文化について理解を深め、発達に応じて適切に関わるための技能を身に付けている。また、子育て支援と子供を取り巻く社会環境の変化や課題及び子供の福祉について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 子供の健やかな発達を支えるために、子供との適切な関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供との関わりと保育・福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。				14
	定期考査			○	○		1
							合計
							78

年間授業計画 様式例

町田 高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 家庭科 科目 生活産業基礎

教科： 家庭科 科目： 生活産業基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ B 組

教科担当者：

使用教科書：（生活産業基礎）

教科 家庭科

の目標：

【知識及び技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家庭と社会との関わりについて理解を深め生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【主体的に取り組む態度】自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 生活産業基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活産業や関連する職業について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。	生活産業や関連する職業に関する課題を発見し、生活産業を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	生活産業や関連する職業への関心を高め、適切な進路選択と専門性の向上を目指して自ら学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 生活産業を学ぶ 【知識・技能】 ・生活産業の役割と消費者の多様なニーズについて理解する。 ・消費の中心が情報やサービスに移行していく状況を理解する。 ・産業構造の変化について理解する。 【思考・判断・表現】 ・生活産業によって人々の生活が支えられていることについて思考を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生活産業にはどのようなものがあるか、また生活産業がどのような役割を果たしているか知る。	1節 生活産業の役割 1項 生活にかかわる産業 2項 生活産業が果たす役割 2節 産業構造の変化 1項 ライフスタイルの変化 2項 生活産業の移り変わり 3節 職業人に求められるもの 1項 人の一生と生活文化への関心 2項 感性やコミュニケーション能力の向上 3項 専門的な知識と技術の習得	【知識・技能】 ・生活産業の役割と消費者の多様なニーズについて理解している。 ・消費の中心が情報やサービスに移行していく状況を理解している。 ・産業構造の変化について理解している。 【思考・判断・表現】 ・生活産業によって人々の生活が支えられていることについて思考を深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生活産業にはどのようなものがあるか、また生活産業がどのような役割を果たしているか知ろうとしている。	○	○	○	10
	2章 ライフスタイルの変化に対応した商品・サービスの提供 【知識・技能】 ・消費者ニーズを的確にとらえることの必要性和、商品企画し提供していく上で必要なマネジメントの手法、関係法規の概要や主旨を理解し、関連する技術を身に付ける。 ・消費者に信頼される商品やサービスを提供するためには、適正な生産管理、在庫管理、流通管理、人材管理が必要であることを理解する。 ・資格の根拠となる法規、許認可の必要な業種、商取引に関する基礎的な法的知識について理解する。 【思考・判断・表現】 ・市場調査の結果を分析した上で課題を発見し、解決法を立案できる。	1節 消費者ニーズの把握 1項 消費者ニーズ 2項 市場調査 2節 商品・サービスの企画・開発および販売・提供 1項 商品・サービスの企画・開発 2項 商品・サービスの販売・提供 3節 マネジメントサイクル・経営理念 1項 イノベーションとマーケティングのマネジメント 2項 経営理念の意味 3項 組織マネジメント 4節 商取引に関する法規 1項 契約のしくみ 2項 決済のしくみ 3項 消費税のしくみ	【知識・技能】 ・消費者ニーズを的確にとらえることの必要性和、商品企画し提供していく上で必要なマネジメントの手法、関係法規の概要や主旨を理解し、関連する技術を身に付けている。 ・消費者に信頼される商品やサービスを提供するためには、適正な生産管理、在庫管理、流通管理、人材管理が必要であることを理解している。 ・資格の根拠となる法規、許認可の必要な業種、商取引に関する基礎的な法的知識について理解している。 【思考・判断・表現】 ・市場調査の結果を分析した上で課題を発見し、解決法を立案している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・商品・サービスの企画・開発・販売・提供について自ら学ぼうとし、課題に取り組んでいる。	○	○	○	6
2 学 期	3章 食生活関連分野 【知識・技能】 ・食品製造業、外食産業、中食産業、食品流通業について意義と役割を理解する。 ・食生活関連分野の職業と資格について理解する。 【思考・判断・表現】 ・食品製造業、外食産業、中食産業、食品流通業の動向について深く考察し、課題を発見し、解決できる。 ・食生活関連分野の職業と資格について情報を収集・整理し、蓄積する。 ・職業人インタビューの成果をレポートにまとめる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・食生活に関連する職業に就くための情報を自ら収集し、整理できる。 ・職場体験活動や見学、職業人インタビューに主体的に取り組める。	1節 食品製造業 1項 フードシステムから食生活を考える 2項 食品製造業とは 3項 食品製造業の動向 2節 外食産業 1項 外食産業とは 2項 外食産業の動向 3節 中食産業 1項 中食産業とは 2項 中食産業の動向 4節 食品流通業 1項 食品流通業 2項 食品流通業の動向 5節 食品製造にかかわる職業と資格 1項 製造部門 2項 販売部門 6節 外食産業にかかわる職業と資格 1項 外食産業 7節 食品流通にかかわる職業と資格 1項 仕入れ部門 2項 販売部門 8節 ライフスタイルの変化と食生活	【知識・技能】 ・食品製造業、外食産業、中食産業、食品流通業について意義と役割を理解している。 ・食生活関連分野の職業と資格について理解している。 【思考・判断・表現】 ・食品製造業、外食産業、中食産業、食品流通業の動向について深く考察し、課題を発見し、解決法を示している。 ・食生活関連分野の職業と資格について情報を収集・整理し、蓄積している。 ・職業人インタビューの成果をレポートにまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・食生活に関連する職業に就くための情報を自ら収集し、整理しようとしている。 ・職場体験活動や見学、職業人インタビューに主体的に取り組んでいる。	○	○	○	16

2 学 期	4 章 衣生活関連分野 【知識・技能】 ・アパレル素材産業、アパレル産業、ファッション小売業の意義と役割を理解できる。 ・アパレル素材産業の職業と資格について理解する。 【思考・判断・表現】 ・アパレル素材産業、アパレル産業、ファッション小売業の動向をふまえ、課題を発見し、解決できる。 ・アパレル素材産業の職業と資格について情報を収集・整理できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・衣生活に関わる産業に興味・関心をもって自ら学ぶことができる。 ・アパレル素材産業の職業と資格について情報を収集・整理し、蓄積できる。	1 節 アパレル素材産業 1 項 アパレル素材産業 2 項 アパレル素材産業の動向 2 節 アパレル産業 1 項 アパレル産業とは 2 項 アパレル産業の動向 3 節 ファッション小売産業 1 項 ファッション小売り産業とは 2 項 ファッション小売り産業の動向 4 節 アパレル素材産業の職業と資格 1 項 アパレル素材産業にかかわる職業と資格 5 節 アパレル企画・生産にかかわる職業と資格 1 項 アパレル企画にかかわる職業と資格 6 節 アパレルの販売にかかわる職業と資格 1 項 アパレルの販売にかかわる職業と資格 7 節 衣生活の変化 1 項 ファッションの移り変わり 8 節 衣生活の課題 1 項 エシカルファッション 2 項 新しい技術を取り入れたファッション 3 項 ファッションの多様化					10
	5 章 住生活関連分野 【知識・技能】 ・注文住宅、建売住宅や企画住宅の建築設計や販売にかかわる産業、インテリアやリフォームにかかわる産業などを取り上げ、意義と役割を理解できる。 ・住生活にかかわる様々な資格や職業について理解する。 ・住生活にかかわる職業と資格について情報を収集・整理し、蓄積できる。 ・ライフスタイルの変化によって住まいの形も変化してきたことを理解する。 ・ライフステージに合わせた住居のリフォームが増加していることや、マンション等の集合住宅においても購入者の希望に合わせて内装を行うようになってきていることなどを理解できる。 【思考・判断・表現】 ・住生活にかかわる職業と資格について情報を収集・整理する。 ・職場体験活動、見学、職業人インタビューを行い、レポートにまとめられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分自身の住生活と関連する産業の現状に関心を持ち、改善ができる。	1 節 住生活にかかわるさまざまな産業 1 項 住生活にかかわる産業 2 項 住まいをつくる産業 3 項 装飾にかかわる産業 2 節 建築にかかわる職業と資格 1 項 建築にかかわる職業と資格 3 節 インテリアデザイン・リフォームにかかわる職業と資格 1 項 インテリアデザインにかかわる職業と資格 2 項 リフォームにかかわる職業と資格 4 節 その他の職業と資格 1 項 住生活にかかわるさまざまな職業・資格 5 節 住生活・住まいの変化 1 項 住まいとは 2 項 伝統的住生活から現代まで～ライフスタイルの変化～ 3 項 新たなライフスタイル 6 節 住まいをめぐる課題 1 項 高齢社会と住環境 2 項 住まいの安全・健康 3 項 環境問題と住まい 4 項 これからの住まいづくり	【知識・技能】 ・注文住宅、建売住宅や企画住宅の建築設計や販売にかかわる産業、インテリアやリフォームにかかわる産業などを取り上げ、意義と役割を理解している。 ・住生活にかかわる様々な資格や職業について理解している。 ・住生活にかかわる職業と資格について情報を収集・整理し、蓄積している。 ・ライフスタイルの変化によって住まいの形も変化してきたことを理解している。 ・ライフステージに合わせた住居のリフォームが増加していることや、マンション等の集合住宅においても購入者の希望に合わせて内装を行うようになってきていることなどを理解している。 【思考・判断・表現】 ・住生活にかかわる職業と資格について情報を収集・整理し、蓄積している。 ・職場体験活動、見学、職業人インタビューを行い、レポートにまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分自身の住生活と関連する産業の現状に関心を持ち、改善しようとしている。 ・住生活にかかわる職業と資格について情報を収集・整理し、蓄積しようとしている。	○	○	○	12
	6 章 ヒューマンサービス関連分野 【知識・技能】 ・高齢者、障がい者、子どもにかかわる各産業についてその意義と役割について理解する。 ・少子高齢化、ライフスタイルや価値観の多様化に伴って、ヒューマンサービス関連分野に対する需要が高まっている状況を理解する。 【思考・判断・表現】 ・ヒューマンサービスに関連する職業と資格について情報を収集・整理する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士、幼稚園教諭、保育士、ベビーシッター、福祉用具や子ども用品に関する職業など、様々な資格や職業について理解できる。	1 節 高齢者にかかわる産業 1 項 ヒューマンサービスとは 2 項 高齢者に関するサービス 2 節 障がい者にかかわる産業 1 項 障がい児・障がい者にかかわる産業 2 項 福祉用具にかかわる産業 3 節 子どもにかかわる産業 1 項 子どもに関する施設 2 項 子ども用品 4 節 高齢者にかかわる職業 1 項 介護が必要な高齢者にかかわる職業 2 項 高齢者の生きがいや楽しみにかかわる職業 5 節 障がい者にかかわる職業 1 項 障がい者の生活にかかわる職業 2 項 障がい者のコミュニケーションに関する職業 3 項 障がい者の就労に関する職業 6 節 子どもにかかわる職業 1 項 子どもや女性の福祉にかかわる職業 2 項 障がい児にかかわる職業 3 項 子どもの教育・保育にかかわる職業 4 項 その他、子ども用品に関する職業	【知識・技能】 ・高齢者、障がい者、子どもにかかわる各産業についてその意義と役割について理解している。 ・少子高齢化、ライフスタイルや価値観の多様化に伴って、ヒューマンサービス関連分野に対する需要が高まっている状況を理解している。 【思考・判断・表現】 ・ヒューマンサービスに関連する職業と資格について情報を収集・整理し、蓄積しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士、幼稚園教諭、保育士、ベビーシッター、福祉用具や子ども用品に関する職業など、様々な資格や職業について理解している。	○	○	○	8

3 学 期	【知識・技能】 ・高齢者、障がい者、子どものそれぞれにかかわる制度について理解する。 ・ヒューマンサービス従事者に求められる資質を理解する。 ・基本的なコミュニケーション方法を考える。 【思考・判断・表現】 ・介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士、幼稚園教諭、保育士、ベビーシッターなど、様々な資格や職業について調べたことをレポートにまとめる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ヒューマンサービス関連分野における現代の課題を発見し、解決できる。	7節 ヒューマンサービスにかかわる資格 1項 福祉関係の資格（国家資格） 2項 国家資格以外の福祉関係の資格 3項 医療関係の資格 4項 その他、事務系の資格 8節 現代の社会福祉 1項 高齢者にかかわる制度と課題 2項 障がい者にかかわる制度と課題 3項 子どもにかかわる制度と課題 9節 ヒューマンサービス従事者に求められる資質 1項 個人情報とは 2項 プライバシーとは 3項 尊厳 4項 ヒューマンサービスにかかわる者の責務	【知識・技能】 ・高齢者、障がい者、子どものそれぞれにかかわる制度について理解している。 ・ヒューマンサービス従事者に求められる資質を理解している。 ・基本的なコミュニケーション方法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士、幼稚園教諭、保育士、ベビーシッターなど、様々な資格や職業について調べたことをレポートにまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ヒューマンサービス関連分野における現代の課題を発見し、解決方法を見出そうとしている。	○	○	○	4
	7章 なりたい自分になるために 【知識・技能】 ・生活産業に関わる職業人に求められる資質・能力、役割・責任、職業資格などについて理解する。 ・職業人に求められる倫理観とは何か、その倫理観が崩壊するとどのような問題が生じるのかを理解する。 【思考・判断・表現】 ・人は何のために働くのかについて、他者の考えを聞き、自分の考えをまとめる。 ・職業と自己実現のイメージを自分事として膨らませることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・なりたい自分になるためには何が課題か発見できる。	1節 職業の選択と自己表現 1項 人は何のために働くのか 2項 職業と自己実現 2節 職業人に必要な資質 1項 職業人の役割と責任 2項 職業人に求められる倫理観 3項 職業人に求められる資質と能力 3節 将来の生活と学業 1項 将来設計と進路計画 2項 学習計画	【知識・技能】 ・生活産業に関わる職業人に求められる資質・能力、役割・責任、職業資格などについて理解している。 ・職業人に求められる倫理観とは何か、その倫理観が崩壊するとどのような問題が生じるのかを理解している。 【思考・判断・表現】 ・人は何のために働くのかについて、他者の考えを聞き、自分の考えをまとめることができる。 ・職業と自己実現のイメージを自分事として膨らませている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・なりたい自分になるためには何が課題か発見しようとしている。	○	○	○	12
							合計
							78

【知識及び技能】効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 情報社会と私たち 【知識及び技能】 今までの情報技術とこれからの情報技術を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 膨大な情報から必要な情報を整理・分析して、判断する力を養わせる。 【学びに向かう力、人間性等】 既に自分たちが情報発信者であり、モラルと責任を持つことの重要性を理解させる。	情報社会の現状について理解する。 情報化の光と影について理解する。 情報社会における個人の責任を理解する。	【知識・技能】 IoT、人工知能（AI）の意味とその活用について理解している。 【思考・判断・表現】 情報化の光と影について理解した上で、ネット依存など個人に与えている影響に対して考え、適切な判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報の発信・受信において、発信者や受信者として注意すべき点について考え、自ら責任をもって行動している。	○	○	○	6
	B 問題解決 【知識及び技能】 問題解決の基本的な手順について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決に必要な情報を収集し、整理する方法について理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 収集整理した情報を効果的に分析しまとめる方法について理解させる。	問題解決の意味を理解し、問題解決の流れについて学ぶ。 情報収集のための手法（ブレンストレーミング、検索エンジンの利用）について学ぶ。 表計算ソフトによる情報を数値化したり、視覚化する方法について学ぶ。	【知識・技能】 検索エンジンを利用し、さまざまな情報から必要な情報を収集する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 適切な情報収集方法を選択し、幅広い観点から情報を収集できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 関心・意欲をもって、収集した情報の整理・分析などを行い、主体的に問題解決に取り組んでいる。	○	○	○	8
	C 情報社会における法規と制度 【知識及び技能】 個人情報・知的財産権のついで存在意義と有効性を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 個人情報の漏洩、知的財産権の侵害が起きた時の対策と防止法を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 個人情報・プライバシーの重要性を理解させる。	個人情報やプライバシー、個人情報の保護や管理と関連権利（プライバシー権、肖像権、パブリシティ権）について学ぶ。 知的財産権の概念（知的財産権の分類、産業財産権や著作権の構成）について学ぶ。 著作物の利用、著作権の侵害について学ぶ。	【知識・技能】 個人情報やプライバシーの概念を理解し、個人情報の保護や管理について理解している。 【思考・判断・表現】 個人情報の流出を防ぎ、自らの個人情報を適切に管理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らや学校での活動に対し、著作権侵害をしないよう活動を計画することができる。	○	○	○	7
	D 情報セキュリティ 【知識及び技能】 個人が行うセキュリティ対策について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータウイルス感染の予防策や感染時の対策について理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 大切な情報を守るための認証の利用や、情報セキュリティ技術にの重要性を理解させる。	個人で行うセキュリティ対策である認証の概要について学ぶ。 安全性の高いパスワードとその管理について学ぶ。 コンピュータウイルスやマルウェアの概要と対策について学ぶ。	【知識・技能】 個人が行うセキュリティ対策である認証の考え方や管理について理解している。 【思考・判断・表現】 コンピュータウイルス感染の予防策や感染時の対策について、適切に判断し対応することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 「特定されづらいパスワード設定」の実習において、情報のセキュリティを高めようと、粘り強く取り組んでいる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

2 学 期	コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 メディアには種類があることを理解し、メディアの発達について知る。 【思考力、判断力、表現力等】 インターネットを活用したコミュニケーションの特徴について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 身の回りのデザインに施されている配慮について知る。	・メディア メディアの機能と特性について学ぶ。 メディアの分類について学ぶ。 ・コミュニケーション コミュニケーションの定義、手段、形態について学ぶ。 コミュニケーションの変化歴史について学ぶ。 ・情報デザイン デザインの基本、色彩、ユニバーサルデザイン、アクセシビリティについて学ぶ。	【知識・技能】 さまざまな意味をもつメディアの機能と特徴について理解している。 技術の進展によるコミュニケーションの手段の変化について理解している。 【思考・判断・表現】 適切な表現メディアや伝達メディアを選択し、伝達したい情報を効果的に表現することができる。 コミュニケーションの目的に沿った方法を適切に選択することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 「情報をわかりやすく伝達するために、文字、図表、グラフなどの表現方法について学習活動を行い、自ら改善しようとしている。」	○	○	○	11
	コンテンツの作成 【知識及び技能】 プレゼンテーションの作成方法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 スライドの作成と見やすくするための工夫について知る。 【学びに向かう力、人間性等】 スライドの発表、評価の方法について理解する。	・コンテンツの作成 コンテンツの作成手順を学ぶ ・プレゼンテーションソフトの使用方法を学ぶ。 ・スライドの発表 スライドの発表方法について学ぶ。	【知識・技能】 プレゼンテーションソフトウェアを用いて、見やすいスライドの資料作成の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 見やすい、わかりやすいスライド資料を作成し、効果的なプレゼンテーションを行うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 わかりやすいプレゼンテーション資料を作成するための工夫をし、プレゼンテーションのリハーサルにも粘り強く取り組んでいる。	○	○	○	14
	情報とコンピュータ 【知識及び技能】 アナログとデジタルの違いについて理解する。 2進数と情報量の関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータにおける各表現メディアの表現方法について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 音声・画像・動画のデータ量の計算方法を理解する。	・デジタル表現の特徴 アナログとデジタルについて学ぶ。 ・2進数と情報量 2進数と10進数、16進数の関係を学ぶ。 ・文字・音・画像・動画の表現方法 音のデジタル化、周波数・ヘルツ・標本化・量子化・符号化周期について学ぶ。	【知識・技能】 アナログとデジタルのそれぞれ特徴や違いを理解している。 コンピュータ内部の数値表現方法である2進数から、10進数や16進数へ相互に変換する方法を理解している。 【思考・判断・表現】 2進数、10進数、16進数を用いて、目的に応じて適切に表現することができる。 音声、画像、動画の主なファイルについて、データ圧縮との関連も含めて、その特徴や内容を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活で利用されている情報機器の種類や特徴などの学習活動について、興味・関心をもって取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	アルゴリズムとプログラム 【知識及び技能】 アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 アルゴリズムの基本構造を学び、わかりやすいプログラミング作成の手順を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 自己評価および相互評価により、効率的なプログラムの改善に向けての手順を理解する。	・アルゴリズム アルゴリズムの基本とプログラムの意味を学ぶ。 ・簡単なプログラムの作成 プログラミング言語を使って、順次構造と繰り返し構造のプログラミングを学ぶ。 ・プログラムの応用 関数を利用したプログラムを学ぶ。	【知識・技能】 アルゴリズムの基本とプログラムの意味を理解している。 プログラミング言語を用いたプログラムの作成について理解している。 【思考・判断・表現】 アルゴリズムやプログラムをわかりやすくするための注意点について考えることができる。 作成したプログラムが正しいかどうかを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 プログラムに間違いがあった際にも、繰り返し粘り強く、プログラムの改善に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	定期考査						1
							合計 78

- 【知識及び技能】 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 企業活動と情報処理 【知識及び技能】 ビジネスにおける情報の重要性を理解し、正しく活用するための知識・技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報化社会の一員として、モラルやマナーに関する正しい知識と判断に基づき行動できるように指導する。 【学びに向かう力、人間性等】 ビジネスにおける情報の役割に関心を持ち、主体的かつ意欲的に学習に取り組む態度を養う。	・指導事項 第1節 情報処理の重要性 第2節 情報モラルと法規 第3節 コミュニケーションと情報デザイン ・教材 授業プリント、問題集 ・一人1台端末の活用等 授業内容の振り返りや探求学習への取り組み	【知識・技能】 ビジネスにおける情報の重要性を理解し、正しく活用するための知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 コンピュータ犯罪や著作権問題、システム障害の危険性や問題点について、具体的に説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおける情報の役割に関心を示し、情報化社会の一員としての自覚をもち、主体的かつ意欲的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	14
	第2章 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク 【知識及び技能】 情報通信ネットワークの役割や仕組みを理解させる。インターネットの利用に必要な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報の価値を的確に判断することができ、正しく情報を活用することができる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 情報通信ネットワークやインターネットの活用に関心を持ち、主体的かつ意欲的に学習に取り組む態度を養う。	・指導事項 第1節 コンピュータシステムの概要 第2節 情報通信ネットワークのしくみと構成 第3節 インターネットの活用 第4節 情報セキュリティの確保 ・教材 授業プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等 授業内容の振り返りや探求学習への取り組み	【知識・技能】 情報通信ネットワークの役割や仕組みを理解し、インターネットの利用に必要な知識と技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 工夫して情報検索をおこない、情報の価値や正確性を正しく判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 今日のビジネスを支える情報通信ネットワークやインターネットの活用に関心を持ち、主体的かつ意欲的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	16
	定期考査						
2 学 期	第3章 情報の集計と分析 【知識及び技能】 関数の書式や機能を理解させ、関数を利用した表作成と目的に応じたグラフの作成技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を分析して、適切な表の形式や関数を選択し、問題解決に必要な表やグラフに表現できる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 表計算ソフトウェアによるビジネス業務の処理に興味をもち、主体的かつ意欲的に学習に取り組む態度を養う。	・指導事項 第1節 ビジネスと統計 第2節 関数を利用した表の作成 第3節 グラフの作成 第4節 情報の整列・検索・抽出 第5節 問題の発見と解決の方法 ・教材 授業プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等 授業内容の振り返りや探求学習への取り組み	【知識及び技能】 関数の書式や機能を理解している。関数を利用した表の作成ができ、そのデータから目的に応じたグラフを作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を分析して、適切な表の形式や関数を選択し、問題を解決することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 表計算ソフトウェアによるビジネス業務の処理に興味をもち、演習に積極的に参加し、主体的かつ意欲的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	16
	第4章 ビジネス文書の作成 【知識及び技能】 ワープロの基本的な操作方法を理解し、ビジネス文書の作成技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 基本的な操作方法もとに問題を的確に判断し、ビジネス文書を作成することができる能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ビジネス文書の重要性を理解し、ビジネス業務の処理に興味をもち、主体的かつ意欲的に学習に取り組む態度を養う。	・指導事項 第1節 ビジネス文書と表現 第2節 基本文書の作成 第3節 応用文書の作成 ・教材 授業プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等 授業内容の振り返りや探求学習への取り組み	【知識及び技能】 ワープロの基本的な操作方法やホームポジション、タッチメソッドを理解し、ビジネス文書を正しく作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を分析し、既習事項を踏まえ目的に応じたビジネス文書の作成ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ビジネス文書の重要性を理解し、ビジネス業務の処理に興味をもち、主体的かつ意欲的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	16
	定期考査						

3 学 期	第5章 プレゼンテーション 【知識及び技能】 プレゼンテーションの目的を理解し、効果的な資料作成に必要な基本的な表現技法を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じたストーリーの展開や資料の作成、話し方などについて考察し、効果的なプレゼンテーションを実施する能力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的なプレゼンテーションの仕方に興味をもち、主体的かつ意欲的に学習に取り組む態度を養う。	・指導事項 第1節 プレゼンテーションの技法 第2節 ビジネスにおけるプレゼンテーション ・教材 授業プリント、問題集 ・一人1台端末の活用 等 授業内容の振り返りや探求学習への取り組み	【知識及び技能】 プレゼンテーションの目的を理解している。分かりやすい資料を作成するための基本的な表現技法を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じたストーリーの展開や資料の作成、話し方などについて考察し、効果的なプレゼンテーションを実施することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的なプレゼンテーションの仕方に興味をもち、主体的かつ意欲的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	16
	定期考査						合計
							78

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和6年度（1学年用）教科

総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科：総合的な探究の時間

科目：総合的な探究の時間

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 AB組 選択

教科担当者：

使用教科書：（

）

教科 総合的な探究の時間

の目標：

- 【知識及び技能】・各講座によりスキルを身に付けること
- 【思考力、判断力、表現力等】・各講座によりスキルを表現すること
- 【学びに向かう力、人間性等】・各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢

科目 総合的な探究の時間

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各講座によりスキルを身に付けること	各講座によりスキルを表現すること	各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けること 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現すること 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢	進路に対する情報収集	【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けている。 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢がある。	○	○	○	14
2 学 期	【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けること 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現すること 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢	進路に対する情報収集	【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けている。 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢がある。	○	○	○	14
3 学 期	【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けること 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現すること 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢	進路に対する情報収集	【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けている。 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢がある。	○	○	○	11 合計 39

高等学校 令和6年度（2学年用）教科

单位数：1 单位

科目：総合的な探究の時間

教科担当者：

教科 総合的な探究の時間

の目標：

【思考力、判断力、表現力等】・各講座によりスキルを表現すること

【学問に向かう方、人間性等】
総合的な探究の時間

の目標：

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けること 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現すること 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢	iPadを活用したタイピング検定の実践的指導	【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けている。 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢がある。	○	○	○	14
2 学期	【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けること 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現すること 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢	様々な検定取得に向けた指導	【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けている。 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢がある。	○	○	○	14
3 学期	【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けること 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現すること 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢	様々な検定取得に向けた指導	【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けている。 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢がある。	○	○	○	11
							合計
							39

高等学校 令和6年度（3学年用）教科

総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科 総合的な探究の時間

科目 総合的な探究の時間

単位数： 1 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組 選択

教科担当者：

使用教科書：

教科 総合的な探究の時間

の目標：

【知識及び技能】 ・各講座によりスキルを身に付けること

【思考力、判断力、表現力等】 ・各講座によりスキルを表現すること

【学びに向かう力、人間性等】 ・各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢

科目 総合的な探究の時間

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各講座によりスキルを身に付けること	各講座によりスキルを表現すること	各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けること 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現すること 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢	進路に対する情報収集	【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けている。 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢がある。	○	○	○	14
2 学 期	【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けること 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現すること 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢	進路に対する情報収集	【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けている。 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢がある。	○	○	○	14
3 学 期	【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けること 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現すること 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢	進路に対する情報収集	【知識・技能】 各講座によりスキルを身に付けている。 【思考・判断・表現】 各講座によりスキルを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 各講座にたいして、主体的に取り組もうとする姿勢がある。	○	○	○	11 合計 39